



公益財団法人

みらいファンド沖縄

2016年度
平成28年度

第6期

事業報告書

2017.5.25

2011年の、東日本大震災による寄付への関心・意識の高まりや、「市民公益税制」の整備、そして2012年の、内閣府の基金事業「新しい公共支援事業」をきっかけとする市民コミュニティ財団設立の動き、またクラウドファンディングの浸透など、寄付や社会貢献への意識や期待は高まっています。2014年には、市民コミュニティ財団の全国組織である一般社団法人全国市民コミュニティ財団協会が設立しました。

2016年度は設立より6年目になり、NPO等市民公益活動団体への支援プログラム「寄付と助成のプログラム」に加え、地域円卓会議の取り組みも年間11回実施しました。また、円卓会議の取り組みが評価され、第11回マニフェスト大賞 優秀賞を受賞することができました。

また、遺贈寄付の取り組みを広げることから、全国レガシーギフト協会が設立・「人生の集大成の社会貢献を安心してできる社会の実現を目指して～全国での遺贈寄付普及に向けた提言」を発表し、環境整備に乗り出し、当財団も加盟しています。

2016年12月9日には休眠預金活用法案も成立し、2019年秋口に一号案件への助成に向けて動き出しました。社会的投資の視点で国や企業、社会の資金の活用が図られる一方でその成果も厳しくみられ、社会インパクト評価として、評価軸の模索が始まっています。

社会環境が大きく変化した年でしたが、本年度も当財団は、地域の困りごとを解決するための基金として、企業や個人の寄付を解決に取り組むところへ届けました。

組織理念：みらいファンド沖縄のミッションとビジョン

社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

当法人は、沖縄における公益活動団体と、公益活動を支えたい企業、団体、個人等とを橋渡しするため、市民活動の社会的基盤の充実を図り、諸資源の循環をもたらすことで、地域のあらゆる主体が公益を担い、沖縄の未来を支え合う社会の実現に寄与することを目的とする。(定款第3条)

情報流通

市民活動の情報発信を促進し、市民の“共感”を育む

公益ポータルサイトの運営
ソーシャル・ヒトワク
広報誌等による情報発信
県内外の寄付文化に関する情報収集と発信

資金循環

“共感”による寄付で、市民活動団体が自律的かつ継続的に活動できる環境づくりをめざす

市民活動を支援する基金の運営
市民活動団体への寄付と助成のプログラム提供
寄付文化を醸成するフォーラム等の開催
他機関の助成プログラム等の支援
企業CSR/CRMの促進

組織概要

名称	 公益財団法人 みらいファンド沖縄
英名	Mirai Fund Okinawa Inc. Foundation
設立年月日	2010年4月23日
公益認定日	2011年4月1日
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
代表理事	小阪 亘
設立経緯	財団設立供出金300万円を 93名の市民から寄付を頂いて設立
住所	〒903-0824 沖縄県那覇市首里池端町34 2Fタイフーンfm内
加盟団体	一般社団法人全国コミュニティ財団協会 一般社団法人全国レガシーギフト協会

みらいファンド沖縄は、市民のみなさまからの寄付により、設立した「市民立」の財団です。

沖縄の公益活動団体を意志ある人々によって支え合う——みらいファンド沖縄の設立趣意に共感し、設立時拠出金をご寄付くださいましたみなさまに、感謝申し上げます。



設立時拠出金に寄付くださったみなさま

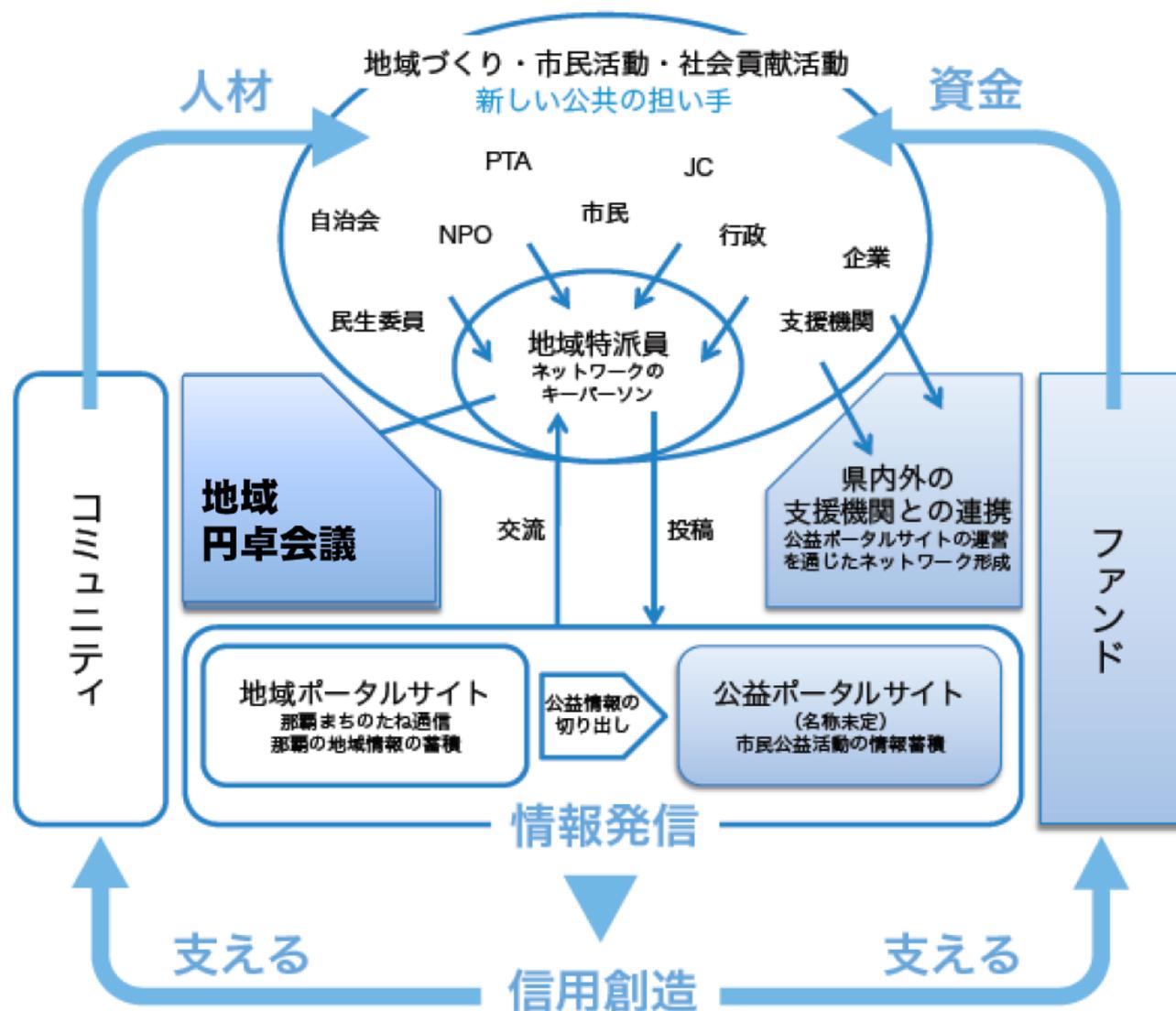
(五十音順・敬称略)

秋葉 武 新井 裕子 新垣 八重子 (有) 新垣ちんすこう菓子店
有井 安仁 東濱 克紀 認定 NPO 法人アンビシャス
石原 達也 今津 新之助 岩田 直子 (株) エフエム那覇
(株) エフエム 21 遠藤 聡志 大城 逸子 大城 喜江子
大城 幸代 大城 成信 大城 武久 大見謝 恒章
NPO 沖縄シニアの会 川北 秀人 菊之露酒造 (株) 金城 嘉志
金城 和光 (株) クレイ沖縄 古我知 浩 小阪 亘 小橋川 繁
小松 かおり 呉屋 貴司 佐久間 愛弓 下地 美香
(特活) 首里まちづくり研究会 佐脇 広平 新開 育恵
新星出版 (株) 杉浦 幹男 関口 宏聡
税理士法人添石総合会計事務所 添石 幸伸
(特活) ソーシャル・デザイン・ファンド 平良 斗星 平良 恵津子
地域情報エージェント (株) 知花 茂 知念 金徳
(特活) ちゅらしまフォトミュージアム 當間 愛晃 戸田 幸典
渡真利 雅男 仲村 一真 中村 聡 (特活) 日中文化交流センター
比嘉 司 平井 雅 福岡 智子 前田 比呂也 真喜屋 光子
(特活) まちなか研究所わくわく 松本 哲治 宮里 大八
宮道 喜一 宮島 さおり 米野 史健 山城 岩夫 山城 司
与儀 隆一 與古田 清順 (特活) ライフサポートてだこ
(有) ルーツ 若尾 貴広 若尾 美希子 渡邊 真寿美
匿名にて寄付くださった方々

(合計 93 名、300 万円)

みらいファンド沖縄事業スキーム (2010 ⇒ 2016)

社会の共感を育て、資金の循環を促すしくみの構築に取り組む

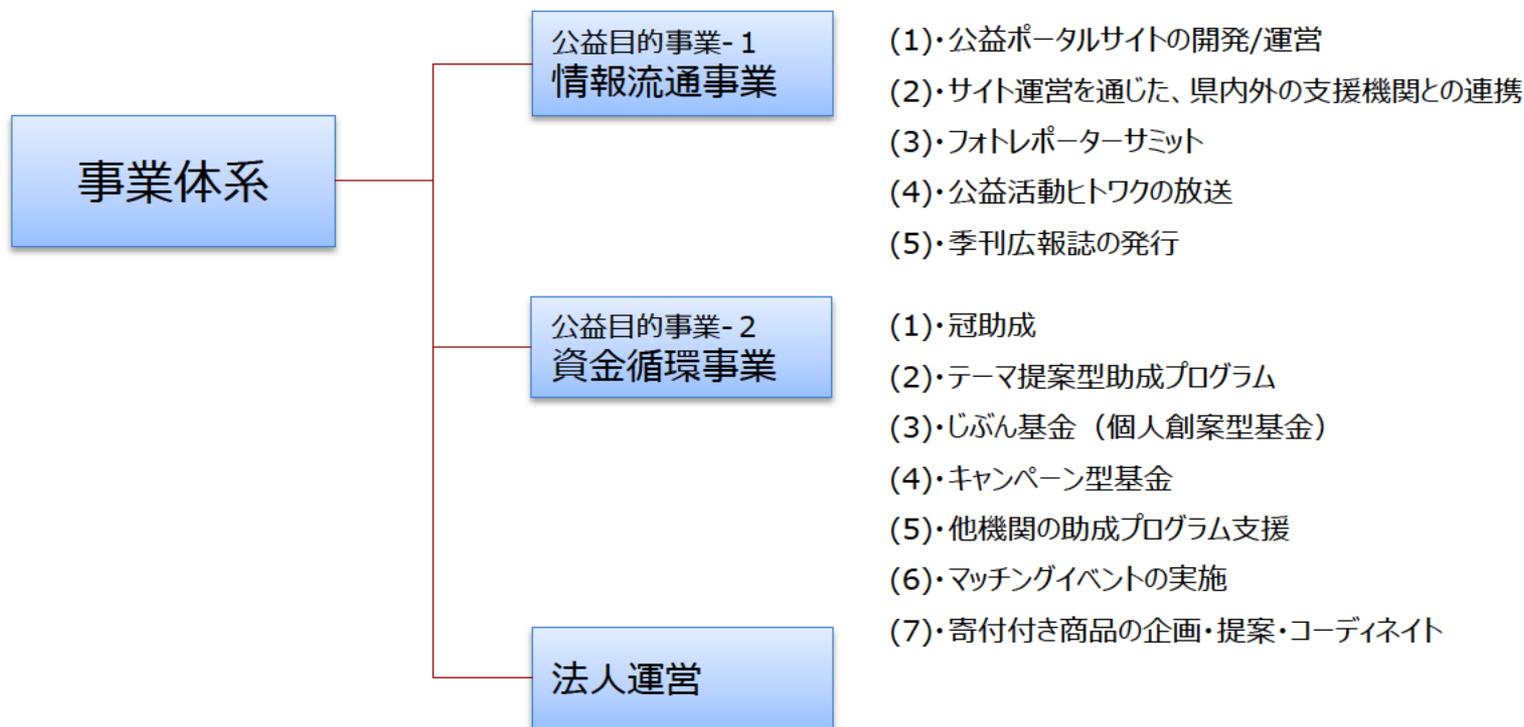


2016年度事業

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。

(全国コミュニティ財団協会資料より抜粋)



2016年度の受入寄付額 29,679,412円(74件)
前年度比 +15,849,127円(-17件)

基金

寄付総額 29,679,412円 (74件) 2017. 3現在

- 2016年度内の採択: 第9期たくす 2事業
カスタマイズ 1事業: 遺贈寄付1件
- 沖縄まちと子ども基金、
- じぶん基金: 新崎盛暉平和活動奨励基金(新規)

寄付月間2016 沖縄パネル展の開催

- 沖縄県庁1階ロビーにて開催(12月19日~28日)
参加: NPO6 民間5 沖縄県3



寄付月間2016
沖縄パネル展
in 沖縄県庁
2016.12.19

助成

「寄付と助成のプログラム」採択が通算26事業に

- 沖縄まちと子ども基金 第2期助成 250千円×2団体
 - たくす 第8期 3団体
たくす 第9期 2団体
- 寄付募集目標総額 10,336千円 前年度受付寄付総額 631千円



Day1 見守り自販機・事業説明・当事者の位置・自販機洗い出し・自販機オーナーの特定、自販機マップと徘徊者が通る場所の検討を住民参加で行う。

課題

地域円卓会議が好評！ 11回開催・支援

- 開催場所(那覇市、東村、宜野座村、南城市、うるま市など)
- テーマ(市民会館、子どもの貧困、若者の定着と働く場所など)

コレクティブインパクト事業の実施

- 全国コミュニティ財団協会委託事業で
- 認知症みまもり自販機
- 子どもの貧困

沖縄NPOデータベースの登録が335団体に



若者の定着と働き方を考える地域円卓会議
in 宜野座村2017.2.27

第11回マニフェスト大賞 優秀賞受賞者



第11回マニフェスト大賞受賞式

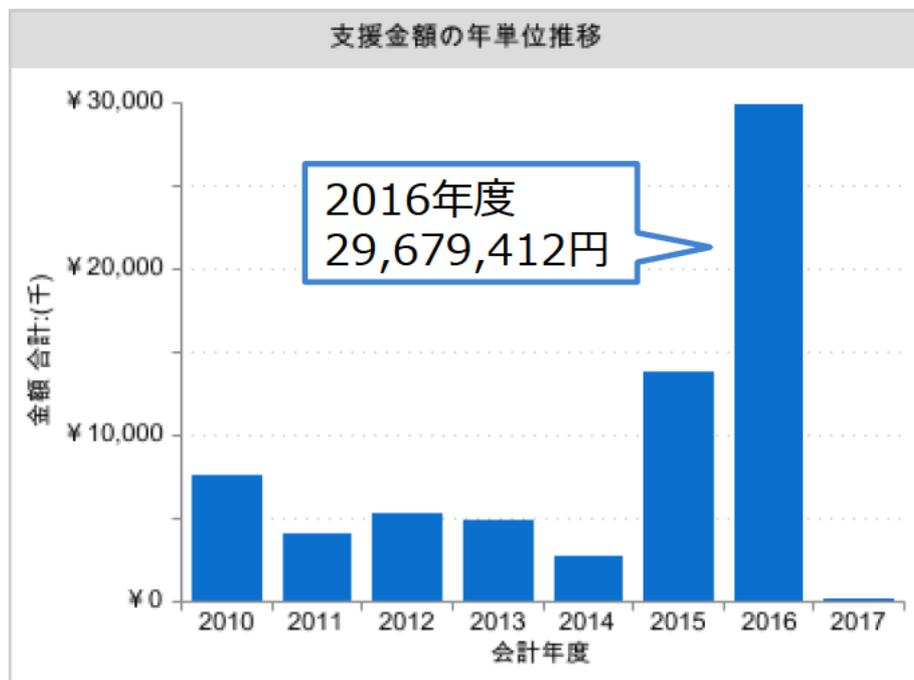
日時：2016年11月11日（金）13時～16時

場所：六本木アカデミーヒルズ 49 階 タワーホール

WEB：<http://www.local-manifesto.jp/manifestoaward/>

主催：マニフェスト大賞実行委員会

寄付金額の推移と件数 (2017.3現在)



寄付金額

68,196,705円

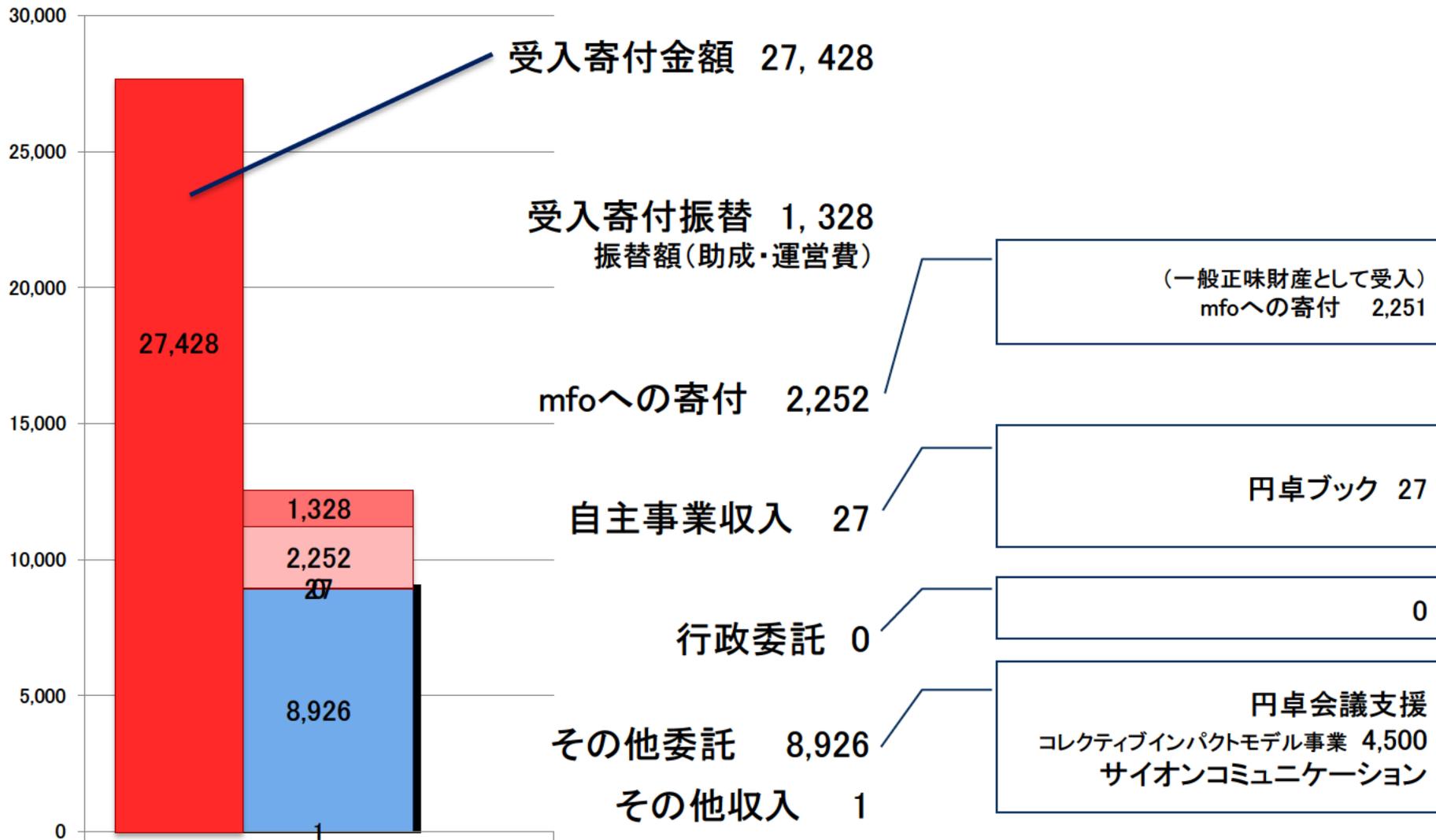
延べ寄付者数
723件



収入の部

収入合計 12,534

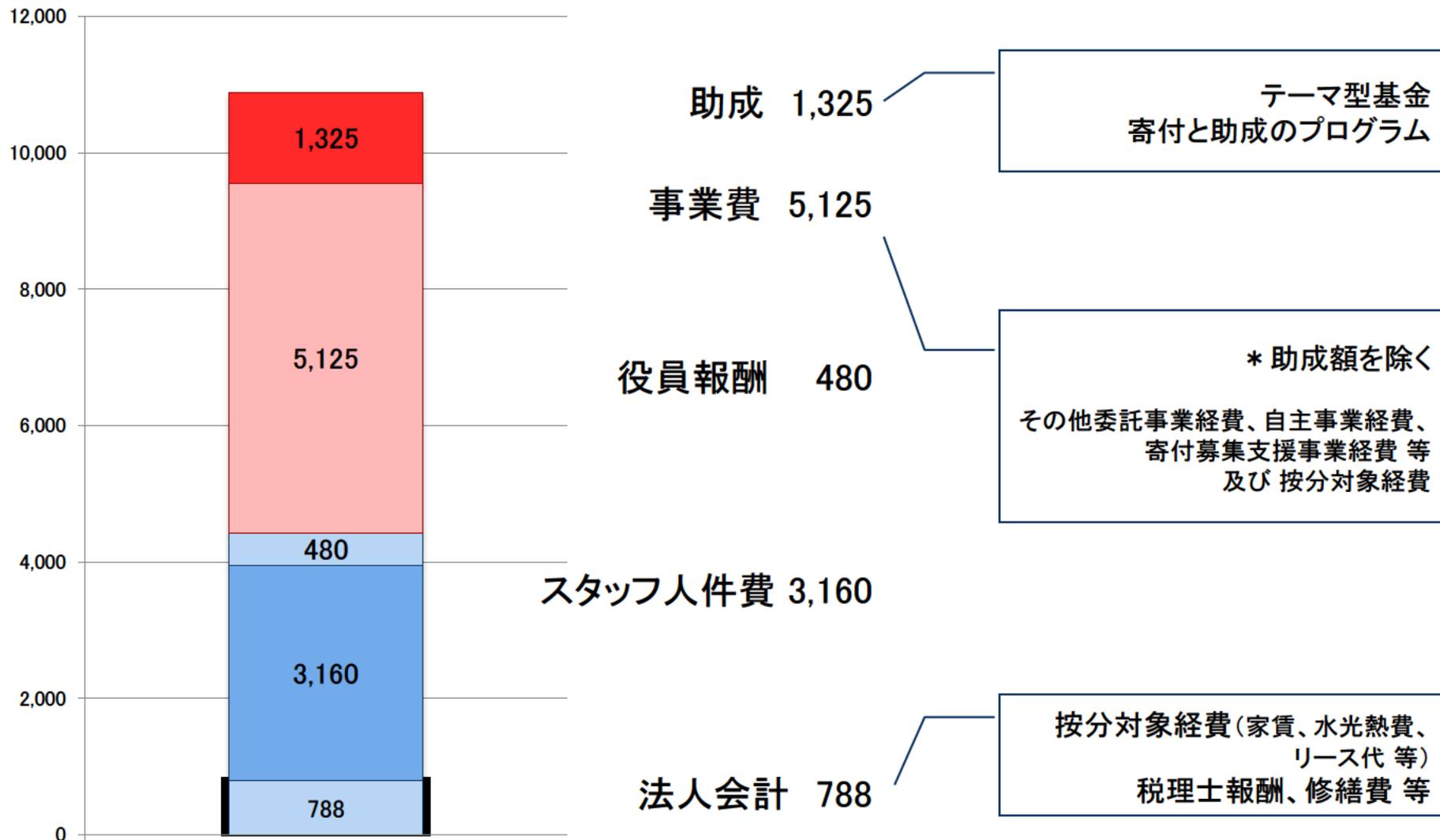
単位：千円(百円以下四捨五入)



支出の部

支出合計 10,878

単位：千円(百円以下四捨五入)



2016年度の概況

沖縄の寄付文化醸成のために、2014年6月に一般社団法人全国コミュニティ財団協会を設立し、当財団は九州ブロックの理事に就任した。また、今年度は遺贈寄付の推進に取り組む一般社団法人レガシーギフト協会にも加盟「人生の集大成の社会貢献を安心してできる社会の実現を目指して～全国での遺贈寄付普及に向けた提言」を発表し遺贈寄付の環境整備に取り組んでいる。

12月には、全国で寄付を推進する月間として、「寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう」が行われた。当財団も寄付月間推進委員として沖縄での推進に取り組み、沖縄県とともに県庁ロビーで寄付月間パネル展を開催した。

当財団のHPである公益ポータルサイトをリニューアルした。今までの沖縄NPOデータベースや寄付と助成の取り組みに加え、地域円卓会議の取り組みを追加し、全体的にデザインも一新した。

みらいファンド沖縄のこの6年間の活動をまとめた広報誌『活動報告書2010-2016』を発行した。寄付や助成金額だけでなく当財団の特徴である地域円卓会議についても取りまとめた。

「公1情報流通事業」は依然として資金の調達が難しい構造になっており、新しい事業資金の調達方法を考えていく必要があると考える。

公1情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 - (1)	公益ポータルサイトの運営 リニューアルしたHP 	通年	法人ウェブページをリニューアル(7月22日) 公益活動団体の信頼を育む情報発信をインターネット上で行う。 NPOデータベース登録数: 現在335団体(1団体増) 年間閲覧数: セッション数 6,417 (※) ユニークユーザ 4,806 (※) ページビュー 13,847 (※) ※実際新規タグで計測しているため実質 7/25-12/31 までの計測値となります
公1 - (2)	他機関連携 情報収集  		全国の動向を知り、沖縄での寄付文化醸成に寄与するため、各機関の研修やフォーラムへ参加した。 おきなわ市民活動支援会議へ参加(月1回) 全国コミュニティ財団協会(以下全コミ財)へ参加 4/14 第1回 集合研修(京都) 7/19 第2回 集合研修(東京) 8/30 第1回 九州ブロック会議(佐賀) 9/13 第3回 集合研修(京都) 11/8 第4回 集合研修(佐賀) 11/8 第2回 九州ブロック会議(佐賀) 11/8 第3回 九州ブロック会議(長崎) 1/16 第5回 集合研修(千葉) 3/20 年次大会(東京) 全国レガシーギフト協会 11/15 設立総会 マニフェスト大賞受賞式 11/11 マニフェスト大賞受賞式 寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう 寄付月間推進委員 9/15 寄付月間推進委員会 地域円卓会議 講師 2/5 in京都(講師:平良斗星) 沖縄子ども未来応援県民会議 委員 (小阪)
	3/20 全国コミュニティ財団協会年次大会の様子		

公1情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 - (4)	ソーシャル・ヒトワクの放送	通年 再放送あり	<p>NPOの活動紹介と、NPOの活動を紹介するトーク番組をタイフーンfm (78.0MHz)で放送した。</p> <p>NPOヒトワケ- 放送回数14回 (2010年度からの通算149回)</p> 
公1 - (5)	広報誌の発行	2月	<p>みらいファンド沖縄活動報告書2010-2016 発行部数: 2000部</p> <p>『活動報告書2010-2016』の表紙</p> 
公1 - (5)	メールニュースの発行	通年 定期配信-2ヶ月 に1回 臨時号は適宜	<p>イベントや助成金の情報、mfoの支援NPOの紹介等を行うメールニュース及びFBで情報発信を行った。イベント直前等に臨時号を発行している。</p> <p>メールニュース発行回数6回(通算63回) 登録者数 1234人(配信 1092人)</p> <p>なお、「ブレインメール」という配信システムを利用開始し、名刺交換等だけでなく、関心を持った方が任意で登録できるようにしている。</p>

公2 資金循環事業

2016年度の概況

「寄付と助成のプログラム」では第7期が寄付募集活動支援期間が終了し、第9期は、2事業が採択され寄付募集を行っている。また、寄付と助成のプログラムたくすの高額寄付募集として、カスタマイズ(募集期間・手数料が異なる)を行い、今年度も寄付募集を継続し多額の寄付を寄せていただいている。

テーマ型基金「沖縄まちと子ども基金」は、第3期2団体が採択され助成事業を実施した。

じぶん基金は、新崎盛暉平和活動奨励基金が新規に誕生した。個人名称を冠したDAF(ドナー・アドバイズド・ファンド)の創設に力を入れている

マッチングイベントでは、2010年度より開催を重ねてきた「地域円卓会議」は引き続き好評で、2016年度は11回開催した。また、全国コミュニティ財団協会より、コレクティブインパクト事業を受託。認知症見守り自販機と子どもの貧困に取り組んだ。

公2資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (1)	世界若者ウチナーンチュ大会 支援基金	2012年6月設置	2016年度は、世界のウチナーンチュ大会が沖縄で開催された為、世界若者ウチナーンチュ大会は開催しなかった。よって、寄付、助成は実施しなかった。 基金の今後の展開については、今後も継続することが確認された。
公2 - (1)	沖縄まちと子ども基金	2012年12月設置	第3期 採択団体 助成金額:25万円 ×2団体 事業名: 若年出産者聞きとり調査 団体名: 琉球大学 教育学研究科 上間陽子教授 助成金額: 250,000円 事業名: NPO×大学協働<働くつながる>事業モデルの構築 団体名: 一般社団法人ダイモン 助成金額: 250,000円 地域円卓会議を開催 (協賛 真如苑) 選考会 日時:2016年8月25日(木) 10:30~12:00 場所:みらいファンド沖縄事務局

* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

公2資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -2)	寄付と助成のプログラム	寄付募集支援期間終了	<p>第3期ぱくと 2012年9月～2013年8月 3事業採択 寄付受入総額2,454,966円) * 寄付募集目標合計額を超える受入額を達成！</p> <p>第4期たくす 2013年3月～2014年2月 4事業採択 寄付受入総額1,040,696円)</p> <p>第5期ぱくと 2013年9月～2014年8月 3事業採択 寄付受入総額 1,069,200円</p> <p>第6期たくす 実施せず</p> <p>第7期たくす 2014年9月～2015年8月 5事業採択 寄付受入総額 1,425,548円 助成額 1,211,717円</p> <p>第8期たくす 2015年9月～2016年8月 3事業採択 寄付受入総額 1,519,000円 助成額 1,291,150円</p>
公2 -2)	寄付と助成のプログラム 第9期たくす	寄付募集支援期間 2016年9月～2017年8月	<p>募集期間:2016年7月22日～8月19日 事業説明会 日時:2016年8月4日(火)19:00～20:30 場所:みらいファンド沖縄事務所</p> <p>選考会: 日時:2016年8月25日(木)10:30～12:00 場所:みらいファンド沖縄事務所</p> <p>採択団体:2団体 ・NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさー ・琉球フィルハーモニー管弦楽団</p> <p>寄付募集目標総額 7,590,000円</p>

公2資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ	寄付募集支援期間 第1期 2015年12月～ 2016年11月 第2期 2016年12月～ 2017年11月	寄付と助成のプログラムたくすのカスタマイズ 高額寄付募集のため、・期間(寄付募集、助成)・手数料 以外は、通常版とは異なるが、それ以外は寄付と助成のプログラムたくすと同じ仕様 採択団体: 特定非営利活動法人 アルコール・薬物依存症リハビリセンター琉球GAIA 寄付募集目標総額: 60,000,000円 件数: 16件 寄付総額: 37,011,000円(2017年3月31日現在)
公2 - (3)	じぶん基金(個人創案型基金) J003 宮里大八国際交流基金	寄付募集支援期間 2015年9月～	宮里大八国際交流基金は、enactusに参画する沖縄及び全国の学生を支援することで、世界的な視野を持ち、沖縄を支える人材を輩出するための基金。 Enactus ワールドカップ 2016 派遣支援助成プログラム は、Enactus日本大会が開催されなかったため、助成プログラムも実際されなかった。 基金残額 109,250円(2017年3月31日現在)
公2 - (3)	じぶん基金(個人創案型基金) J004 新崎盛暉平和活動奨励基金	新設 2017年1月設置	沖縄の歴史を踏まえ、沖縄の平和と人権を守り、沖縄を世界の平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動を助成することを目的として、この基金を設置します。 寄付金額: 1,000,000円 募集期間: 2017年3月1日(水)～4月30日(水) 17:00必着

公2資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -6)	地域円卓会議の開催・支援	11回 県内11回	<p>地域の社会的課題の解決のための対話の場である「地域円卓会議」の開催・支援を行った。</p> <p>地域円卓会議:11回 センター着席者:70名 来場者:409名 主催者も議員、行政、大学と多岐にわたった</p> <p>5/29(日) 那覇市議会議員 前泊美紀/那覇市民会館のこれからを考える地域円卓会議/参加者23名 8/7(日) 南城市/南城市のこれからを考える地域円卓会議/参加者27名 8/31(水) なはマチグワーイベント連携プロジェクトチーム/マチグワーのトイレ問題を考える地域円卓会議/参加者46名 12/16(金) みらいファンド沖縄/認知症に起因する徘徊と安心なまちづくりを考える地域円卓会議/参加者76名 1/31(火) 糸満市 社会福祉課・糸満ワークエンジョイプロジェクト(株式会社ルーツ)/糸満市における障がい者の就労について考える 地域円卓会議/参加者9名 2/17(金) 公立大学法人 名桜大学 国立大学法人 琉球大学 地域連携推進機構/若者の定住と働き方を考える地域円卓会議in東村(名桜大学) /参加者25名 2/27(月) 同上/若者の定住と働き方を考える地域円卓会議in宜野座村/参加者46名 3/3(金) 国立大学法人 琉球大学 地域連携推進機構 公立大学法人 名桜大学/若者の定住と働き方を考える地域円卓会議inうるま市/参加者33名 3/5(日) 同上/若者の定住と働き方を考える地域円卓会議in南城市/参加者20名 3/9(木) 那覇市社会福祉協議会/那覇市子どもの居場所づくり地域円卓会議/参加者64名 2/27(月) チャイルド・ホープ・アクション沖縄/チャイルド・ホープ・アクション沖縄(chaoチャオ)旗揚げ円卓会議/参加者40名</p>
			<p>2/27 県内の離島と本島北部地域5カ所における若者の定住と働き方を考える@宜野座村(琉球大学・名桜大学) 地域円卓会議のようす</p>

* 公2-(4)キャンペーン型基金 公2-(7)寄付付き商品の振興 については当年度は実施していない

公2資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -6)	コレクティブインパクト事業 	通年	全国コミュニティ財団協会から助成をいただき、コレクティブインパクトで社会課題解決を行う事業に取り組む ・認知症みまもり自販機 12/16 認知症に起因する徘徊と安心なまちづくりを考える 円卓会議を開催 場 所: 沖縄県総合福祉センター 403研修室 主 催: 公益財団法人みらいファンド沖縄 着席者数: 8名(論点提供者、司会、記録者含む) 来場者数: 76名(企業・行政・NPO・市民) 12/19 Day1 見守り自販機・事業説明・当事者の位置・自販機洗い出し・自販機オーナーの特定、自販機マップと徘徊者が通る場所の検討を住民参加で行った ・子どもの貧困問題の解決
公2 -6)	寄付月間2016 	12月	寄付月間パネル展の実施 期間: 平成28年12月19日(月)～平成28年12月28日(水) 場所: 沖縄県県庁1階ロビー 参加団体 公益財団法人みらいファンド沖縄/にじのはしファンド/NPO法人難病支援センターアンビシャス/フードバンクセカンドハーベスト沖縄/NPO法人子ども医療支援わらびの会/子どもシェルターおきなわ 琉球新報/沖縄タイムス社/赤い羽共同募金/赤十字病院/沖縄県社会福祉協議会 沖縄子どもの未来県民会議/美ら島ゆいまーる寄附金/沖縄平和賞
公2 -6)	各種勉強会の開催	随時	地域円卓会議体験セミナー 日時: 2016年12月16日(金)17日(土) 16日 円卓会議の参加 17日 解説&プログラムづくりセミナー 参加者: 11名 参加費: 5,000円/人

その他(法人運営等)

2016年度の概況

法人運営体制について、現在の収入規模に応じた運営規模に見直し経費削減を行った結果、昨年度に引き続き単年度黒字を達成することができた。管理費の削減に取り組み人件費や労働・社会保険関連の業務もなくなり、業務量の削減を行った。また、消費税対象事業を1000万円以下にすることにより、消費税の支払いもなくなり、効率的な運営に努めた。一方で年間寄付金額は過去最大29,679,412円となり、一般正味財産も300万円を回復した。また、公益目的事業の黒字化により、収支相償の余剰金の解消に努めた。

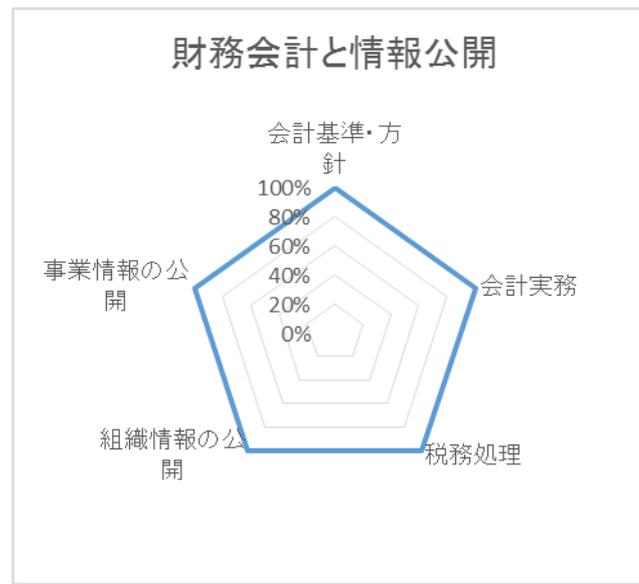
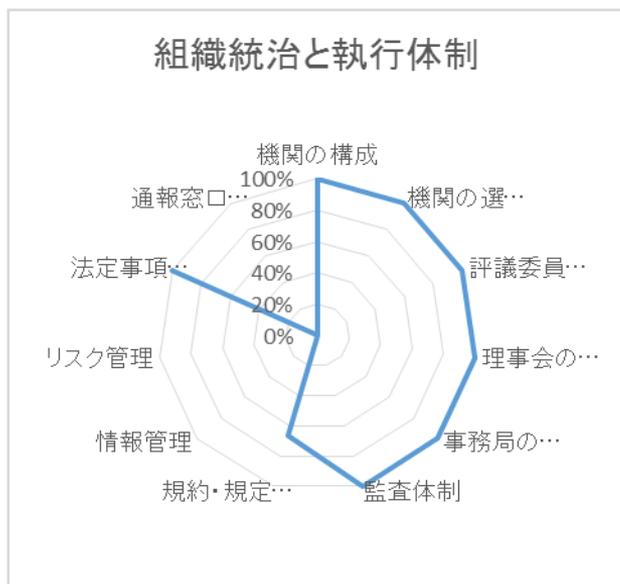
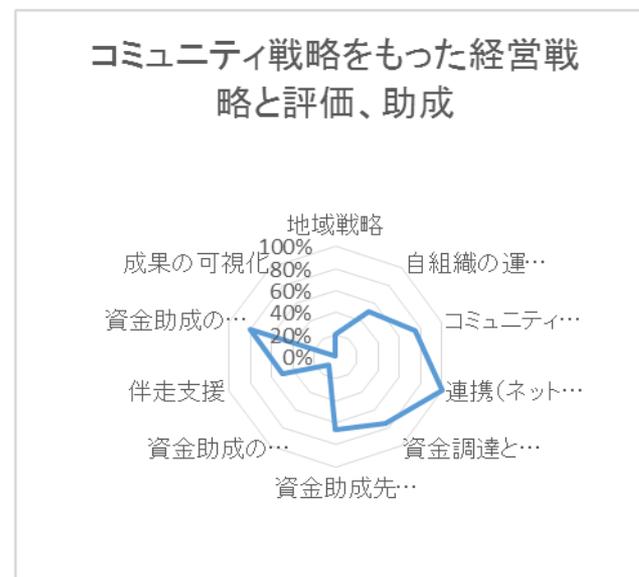
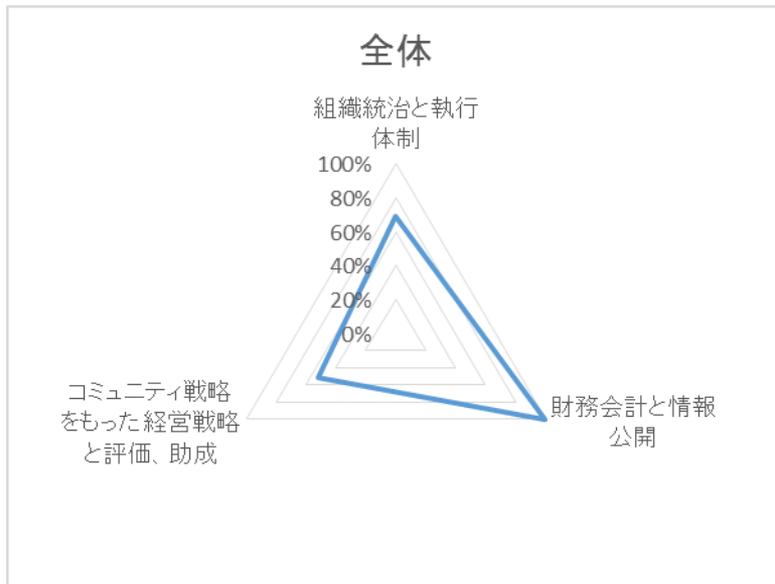
また、コミュニティ財団ガイドライン(発行:全国コミュニティ財団協会 2016)に基づき運営を行うためセルフチェックを実施した。

今年度は、沖縄県公益法人立入検査 9月1日(木)(定期立入検査)や税額控除継続申請の手付きなど、法人環境面での整備を整える節目の時期でもあった。

公益法人として6年目となり、社会環境の変化にともない事業内容も変化してきている。また、休眠預金の活用などを図る場合、よりガバナンスを強化することが求められるため、組織基盤の強化に取り組む必要がある。



コミュニティ財団ガイドラインによるセルフチェック結果



役員一覧

評議員（任期（4年）：2014年5月22日～2018年評議員会まで）

役職	氏名	所属
評議員	イナギ ジュンイチ 稲垣 純一	沖縄電子ビジネス専門学校 理事
評議員	イマツ シンノスケ 今津 新之助	有限会社ルーツ 代表取締役
評議員	キンジョウ ワコウ 金城 和光	株式会社沖縄ヒューマンキャピタル 代表取締役
評議員	タバタ ハルヨ 田端 温代	
評議員	マキヤ ミツコ 真喜屋 光子	有限会社センチュリー経営企画（マキの靴）代表取締役
評議員	クラカ タイキ 倉岡 大樹	株式会社ディスカバーウェディング 代表取締役社長

理事（任期（2年）：2016年5月26日～2018年評議員会まで）

役職	氏名	所属
理事 代表理事	コサカ ワタル 小阪 亘	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく 代表理事
理事 副代表理事	タイラ トセイ 平良 斗星	株式会社エフエム那覇 会長
理事	ミヤザト ダイヤ 宮里 大八	琉球大学 地域連携推進機構 特命准教授
理事	テルキナ トオル 照喜名 通	沖縄県難病相談支援センター 認定NPO法人 アンビシャス 副理事長
理事	チネン タツヒコ 知念 忠彦	医療法人天仁会 天久ヒルトップ 施設長

監事（任期（4年）：2014年5月22日～2018年評議員会まで）

役職	氏名	所属
監事	ナンロ ヨシエ 名城 佳枝	大学非常勤講師、ファイナンシャルプランナー、沖縄県金融広報アドバイザー
監事	ヤマザキ アラタ 山崎 新	株式会社おきなわedu 取締役

受入れ寄付額と助成の実績(2010-2016)

	法人設立当初の 受入寄付 年間目標額	受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2010 (第1期)	200万円	9,197,780円	9,197,780円	5,755,250円	・受入寄付額には拠出金を含む ・震災関連寄付を含む
2011 (第2期)	1000万円	3,824,684円	13,022,838円	2,427,218円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む ・震災関連寄付を含む
2012 (第3期)	2000万円	5,170,037円	18,194,341円	3,709,315円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2013 (第4期)	3000万円	4,920,777円	23,115,118円	2,383,834円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2014 (第5期)	5000万円	2,760,362円	25,875,480円	2,549,919円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2015 (第6期)		12,718,093円	38,593,573円	1,745,517円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2016 (第7期)		29,679,412円	68,272,985円	1,325,250円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む

略年表(2009-2013)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2009 H21	<ul style="list-style-type: none"> •キックオフフォーラム 	<ul style="list-style-type: none"> •衆議院選挙で民主党圧勝 •裁判員制度施行
2010 H22	<ul style="list-style-type: none"> •法人設立 •那覇市「地域づくり・公益活動支援事業」受託(緊急雇用事業) •「じぶん基金」プログラム2基金スタート •沖縄NPOデータベース公開 	<ul style="list-style-type: none"> •普天間基地の辺野古移転が白紙に •沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 •「新しい公共」円卓会議 •11月 仲井真知事 再選 •12月 ISO26000発効 •3/11 東日本大震災
2011 H23	<ul style="list-style-type: none"> •公益財団法人化 •「寄付と助成のプログラム」スタート •H23「沖縄県新しい公共支援事業」受託 •クレジットカードにて寄付決済サービス開始 •PSTをクリアし、税額控除認定を受ける 	<ul style="list-style-type: none"> •6月 新しい市民公益税制が成立 •6月 改正NPO法が成立 •7月 なでしこジャパン FIFA杯優勝 •10月 世界のウチナーンチュ大会
2012 H24	<ul style="list-style-type: none"> •H24沖縄県「新しい公共支援事業」受託 •「世界若者ウチナーンチュ大会支援基金」設置 •カンパイチャリティを開催 •「沖縄まちと子ども基金」設置 	<ul style="list-style-type: none"> •4月 新認定NPO法人制度スタート •5月 沖縄の本土復帰40周年 •8月 ロンドンオリンピック •11月 那覇市長に翁長氏が4選 •12月 衆議院選挙で自民党圧勝 •2月 浦添市にNPO出身の市長が誕生
2013 H25	<ul style="list-style-type: none"> •4月 事務局をタイフーンfm内に移転 •6月 国交省 事業受託 •7月 累積寄付受入額 2000万円を突破 	<ul style="list-style-type: none"> •4月 インターネット選挙解禁 •6月 富士山が世界遺産に •11月 旧民法法人の移行特措期間終了

略年表(2014-2016)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2014 H26	<ul style="list-style-type: none"> ・6月「寄付と助成のプログラム」を再編し公募開始 ・6月一般社団法人全国コミュニティ財団協会設立、設立時九州ブロック理事として参画 ・3月全国コミュニティ財団協会海外招聘事業フォーラム・研修「米国のコミュニティ財団100年の歴史に学ぶ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 消費税増税(8%) ・5月 日本創生会議が自治体の896が消滅の危機にあると発表。地方消滅(通称増田レポートの発表) ・9月 第2次阿部内閣にて、地方創生担当大臣に石破茂とまち・ひと・しごと創生本部を設置。 ・9月 FIFAワールドカップ ブラジル大会 ・12月 沖縄県知事に翁長雄志氏が当選 ・2月 介護保険制度の改正(要支援1, 2が予防給付の対象除外に)
2015 H27	<ul style="list-style-type: none"> ・10月 じぶん基金 宮里大八国際交流基金を設置 ・12月 寄付月間、全国規模の寄付推進の取り組み、寄付月間推進委員として、沖縄で寄付推進に取り組む ・1月 遺贈寄付 第1号を受け入れる ・2月8日 みらいファンド沖縄5周年記念イベント ドネーションパーティ&サンクスデー ・琉球大学、名桜大学とCOC+円卓会議開催(県内5カ所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・普天間基地の辺野古移転が白紙に ・沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 ・「戦後70年談話」 ・9月10日 関東・東北豪雨 鬼怒川氾濫 ・9月19日 参院本会議で“安保法”可決 ・11月13日 「パリ同時多発テロ」発生 ・12月 寄付月間が、寄付を推進する全国的な取り組みが初めておこなれた。 ・2月 国勢調査で初めて人口減少 1920年の調査開始以来初めて。
2016 H28	<ul style="list-style-type: none"> ・7月 沖縄県が、県内の深刻な子どもの貧困の解決に向けて 沖縄子ども未来県民会議を設置 事業部会の委員として参画 ・11月 マニフェスト大賞 優秀賞 受賞 ・11月 全国レガシーギフト協会 設立総会(みらいファンド沖縄加盟) ・税額控除認定 更新 ・1月 新崎盛暉平和活動奨励基金 を設置 ・累積寄付受入額 5000万円を突破 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月 日銀がマイナス金利政策を導入したことにより、 長期金利が過去最低を更新 ・4月14日、16日 熊本地震、初めて震度7が2回観測 ・5月 伊勢志摩サミット オバマ米大統領が広島訪問 ・12月2日 休眠預金活用法成立 ・1月 ドナルド・トランプの第45代アメリカ合衆国大統領 就任

貸借対照表

平成 29年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,082,363	2,066,885	2,015,478
未収金	592,050	0	592,050
たな卸資産	8,240	13,390	△ 5,150
流動資産合計	4,682,653	2,080,275	2,602,378
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
資金循環事業基金	36,730,861	10,631,607	26,099,254
特定資産合計	36,730,861	10,631,607	26,099,254
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	36,730,861	10,631,607	26,099,254
資産合計	41,413,514	12,711,882	28,701,632
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	996,441	135,161	861,280
預り金	95,512	10,708	84,804
流動負債合計	1,091,953	145,869	946,084
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,091,953	145,869	946,084
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	36,730,861	10,631,607	26,099,254
指定正味財産合計	36,730,861	10,631,607	26,099,254
2. 一般正味財産			
一般正味財産	3,590,700	1,934,406	1,656,294
正味財産合計	40,321,561	12,566,013	27,755,548
負債及び正味財産合計	41,413,514	12,711,882	28,701,632

貸借対照表内訳表
平成 29年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	0	4,082,363	4,082,363
未収金	337,050	255,000	592,050
たな卸資産	8,240	0	8,240
流動資産合計	345,290	4,337,363	4,682,653
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
資金循環事業基金	36,730,861	0	36,730,861
特定資産合計	36,730,861	0	36,730,861
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	36,730,861	0	36,730,861
資産合計	37,076,151	4,337,363	41,413,514
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	950,000	46,441	996,441
預り金	82,050	13,462	95,512
流動負債合計	1,032,050	59,903	1,091,953
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,032,050	59,903	1,091,953
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	36,730,861	0	36,730,861
指定正味財産合計	36,730,861	0	36,730,861
2. 一般正味財産	△ 686,760	4,277,460	3,590,700
正味財産合計	36,044,101	4,277,460	40,321,561
負債及び正味財産合計	37,076,151	4,337,363	41,413,514

正味財産増減計算書

平成 28年 4月 1日 から平成 29年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
自主事業	27,000	76,500	△ 49,500
委託事業	8,926,360	3,520,591	5,405,769
事業収益計	8,953,360	3,597,091	5,356,269
受取寄付金			
受取寄付金	2,251,552	1,724,706	526,846
受取寄付金振替額	1,328,606	2,690,200	△ 1,361,594
受取寄付金計	3,580,158	4,414,906	△ 834,748
雑収益			
受取利息	422	2,600	△ 2,178
雑収益	0	24,487	△ 24,487
雑収益計	422	27,087	△ 26,665
経常収益計	12,533,940	8,039,084	4,494,856
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	480,000	0	480,000
給料手当	3,160,800	0	3,160,800
福利厚生費	3,084	0	3,084
旅費交通費	535,332	42,980	492,352
通信運搬費	23,370	49,690	△ 26,320
消耗品費	134,816	302	134,514
印刷製本費	184,970	195,200	△ 10,230
賃借料	405,000	360,000	45,000
諸謝金	0	75,000	△ 75,000
租税公課	10,600	0	10,600
支払負担金	160,000	0	160,000
支払助成金	1,325,250	1,745,517	△ 420,267
委託費	2,924,280	0	2,924,280
外注工賃	668,000	3,559,050	△ 2,891,050
会場費	0	69,120	△ 69,120
雑費	74,584	82,453	△ 7,869
事業費計	10,090,086	6,179,312	3,910,774
管理費			
役員報酬	120,000	0	120,000
福利厚生費	1,028	0	1,028
交際費	0	3,000	△ 3,000
通信運搬費	6,916	6,823	93
消耗品費	3,000	14,250	△ 11,250
賃借料	135,000	120,000	15,000
諸謝金	469,416	823,416	△ 354,000
租税公課	800	77,500	△ 76,700
雑費	51,400	21,544	29,856
管理費計	787,560	1,066,533	△ 278,973
経常費用計	10,877,646	7,245,845	3,631,801
評価損益等調整前当期経常増減額	1,656,294	793,239	863,055
当期経常増減額	1,656,294	793,239	863,055
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,656,294	793,239	863,055
当期一般正味財産増減額	1,656,294	793,239	863,055
一般正味財産期首残高	1,934,406	1,141,167	793,239
一般正味財産期末残高	3,590,700	1,934,406	1,656,294
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	27,427,860	12,078,387	15,349,473
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	1,328,606	2,690,200	△ 1,361,594
当期指定正味財産増減額	26,099,254	9,388,187	16,711,067
指定正味財産期首残高	10,631,607	1,243,420	9,388,187
指定正味財産期末残高	36,730,861	10,631,607	26,099,254
III 正味財産期末残高	40,321,561	12,566,013	27,755,548

正味財産増減計算書内訳表

平成 28年 4月 1日 から平成 29年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計	合計
	情報流通	資金循環	小計		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
事業収益					
自主事業	27,000	0	27,000	0	27,000
委託事業	300,000	7,654,360	7,954,360	972,000	8,926,360
事業収益計	327,000	7,654,360	7,981,360	972,000	8,953,360
受取寄付金					
受取寄付金	0	0	0	2,251,552	2,251,552
受取寄付金振替額	0	1,328,606	1,328,606	0	1,328,606
受取寄付金計	0	1,328,606	1,328,606	2,251,552	3,580,158
雑収益					
受取利息	0	0	0	422	422
経常収益計	327,000	8,982,966	9,309,966	3,223,974	12,533,940
(2) 経常費用					
事業費					
役員報酬	60,000	420,000	480,000	0	480,000
給料手当	0	3,160,800	3,160,800	0	3,160,800
福利厚生費	822	2,262	3,084	0	3,084
旅費交通費	182,762	352,570	535,332	0	535,332
通信運搬費	1,107	22,263	23,370	0	23,370
消耗品費	0	134,816	134,816	0	134,816
印刷製本費	134,750	50,220	184,970	0	184,970
賃借料	21,600	383,400	405,000	0	405,000
租税公課	0	10,600	10,600	0	10,600
支払負担金	160,000	0	160,000	0	160,000
支払助成金	0	1,325,250	1,325,250	0	1,325,250
委託費	0	2,924,280	2,924,280	0	2,924,280
外注工賃	0	668,000	668,000	0	668,000
雑費	1,836	72,748	74,584	0	74,584
事業費計	562,877	9,527,209	10,090,086	0	10,090,086
管理費					
役員報酬	0	0	0	120,000	120,000
福利厚生費	0	0	0	1,028	1,028
通信運搬費	0	0	0	6,916	6,916
消耗品費	0	0	0	3,000	3,000
賃借料	0	0	0	135,000	135,000
諸謝金	0	0	0	469,416	469,416
租税公課	0	0	0	800	800
雑費	0	0	0	51,400	51,400
管理費計	0	0	0	787,560	787,560
経常費用計	562,877	9,527,209	10,090,086	787,560	10,877,646
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 235,877	△ 544,243	△ 780,120	2,436,414	1,656,294
当期経常増減額	△ 235,877	△ 544,243	△ 780,120	2,436,414	1,656,294
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	366,353	△ 187,663	178,690	△ 178,690	0
税引前当期一般正味財産増減額	130,476	△ 731,906	△ 601,430	2,257,724	1,656,294
当期一般正味財産増減額	130,476	△ 731,906	△ 601,430	2,257,724	1,656,294
一般正味財産期首残高	△ 36,410	△ 48,920	△ 85,330	2,019,736	1,934,406
一般正味財産期末残高	94,066	△ 780,826	△ 686,760	4,277,460	3,590,700
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金					
受取寄付金	0	27,427,860	27,427,860	0	27,427,860
一般正味財産への振替額					
一般正味財産への振替額	0	1,328,606	1,328,606	0	1,328,606
当期指定正味財産増減額	0	26,099,254	26,099,254	0	26,099,254
指定正味財産期首残高	0	10,631,607	10,631,607	0	10,631,607
指定正味財産期末残高	0	36,730,861	36,730,861	0	36,730,861
III 正味財産期末残高	94,066	35,950,035	36,044,101	4,277,460	40,321,561

財産目録

平成 29年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	普通預金	琉球銀行 壺屋支店	運転資金として	2,934,602		
		沖縄銀行 首里支店	〃	6,953		
		沖縄銀行 鳥堀支店	〃	6,998		
		沖縄銀行 鳥堀支店	〃	500,001		
		沖縄銀行 鳥堀支店	〃 (まちと子ども基金)	10,503		
		沖縄銀行 鳥堀支店	〃 (ガイア)	172		
		琉球銀行 首里支店	〃 (まちと子ども基金)	300		
		沖縄銀行 鳥堀支店	〃 (新崎盛暉)	2		
		沖縄銀行 鳥堀支店	〃 (徘徊見守り事業)	622,832		
			郵便振替口座		0	
	未収金	(特非)まちなか研究所わくわく (公財)地域創造基金さなぶり 理事	円卓会議ライセンス料 円卓視察謝金 源泉所得税	460,000 50,000 82,050		
	たな卸資産		円卓ブック (40冊)	8,240		
流動資産合計				4,682,653		
(固定資産)	資金循環事業基金	沖縄銀行 鳥堀支店他	寄付と助成プログラム	203,073		
		沖縄銀行 鳥堀支店	テーマ型 (まちと子ども基金)	759,927		
		琉球銀行 首里支店	テーマ型 (まちと子ども基金)	180,771		
		沖縄銀行 鳥堀支店	寄付と助成プログラム (ガイア)	34,602,340		
		沖縄銀行 鳥堀支店	テーマ型 (WYUA)	25,500		
		沖縄銀行 鳥堀支店	宮里大八国際交流基金	109,250		
		沖縄銀行 鳥堀支店	新崎盛暉平和活動奨励基金	850,000		
			郵便振替口座		0	
		固定資産合計				36,730,861
		資産合計				41,413,514
(流動負債)	未払金	(株)スタートライン 理事 大城税理士事務所 (特非)まちなか研究所わくわく	委託料	900,000		
			役員報酬	50,000		
			税理士報酬 (3月分)	36,441		
			謝金	10,000		
	預り金		源泉所得税	95,512		
流動負債合計				1,091,953		
固定負債合計				0		
負債合計				1,091,953		
正味財産				40,321,561		

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の会計処理は、最終仕入原価法によっている。

(2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
資金循環事業基金	10,631,607	27,424,504	1,325,250	36,730,861
小計	10,631,607	27,424,504	1,325,250	36,730,861
合計	10,631,607	27,424,504	1,325,250	36,730,861

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
資金循環事業基金	36,730,861	36,730,861	0	0
小計	36,730,861	36,730,861	0	0
合計	36,730,861	36,730,861	0	0

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額 (各事業団体への寄付金助成のため)	1,328,606
	1,328,606

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	資金循環事業基金	10,631,607	27,424,504	1,325,250	36,730,861
	特定資産計	10,631,607	27,424,504	1,325,250	36,730,861

平成28年度 監査報告書

公益財団法人 みらいファンド沖縄
代表理事 小 阪 亘 殿

公益財団法人みらいファンド沖縄定款第33条の規定に基づき平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

平成29年4月25日

公益財団法人みらいファンド沖縄

監事 名城 佳枝

監事 山崎 新

2017年度
平成29年度

第8期
事業報告書

2018.6.22

2011年の、東日本大震災による寄付への関心・意識の高まりや、「市民公益税制」の整備、そして2012年の、内閣府の基金事業「新しい公共支援事業」をきっかけとする市民コミュニティ財団設立の動き、またクラウドファンディングの浸透など、寄付や社会貢献への意識や期待は高まっています。2014年には、市民コミュニティ財団の全国組織である一般社団法人全国市民コミュニティ財団協会が設立しました。

2017年度は、NPO等市民公益活動団体への支援プログラム「寄付と助成のプログラム」に加え、地域円卓会議の取り組みも年間16回実施しました。また、東近江市、千葉県、静岡県、佐賀県、においても沖縄式地域円卓会議の手法を用い地域課題の共有の取り組み、広がりを見せています。また、遺贈寄付の取り組みを広げることから、全国レガシーギフト協会とともに遺贈寄付研修（NPO向け、土業向け）を沖縄県で初めて開催した。遺贈寄付が安心して行われるよう環境整備に取り組む。

2016年12月9日には休眠預金活用法案も成立し、2019年秋口に一号案件への助成に向けて動き出しました。社会的投資の視点で国や企業、社会の資金の活用が図られる一方でその成果も厳しくみられ、社会インパクト評価として、評価軸の模索が始まっています。

社会環境が大きく変化した年でしたが、本年度も当財団は、地域の困りごとを解決するための基金として、企業や個人の寄付を解決に取り組むところへ届けました。

組織理念：みらいファンド沖縄のミッションとビジョン

社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

当法人は、沖縄における公益活動団体と、公益活動を支えたい企業、団体、個人等とを橋渡しするため、市民活動の社会的基盤の充実を図り、諸資源の循環をもたらすことで、地域のあらゆる主体が公益を担い、沖縄の未来を支え合う社会の実現に寄与することを目的とする。
(定款第3条)

情報流通

市民活動の情報発信を促進し、市民の“共感”を育む

公益ポータルサイトの運営
ソーシャル・ヒトワク
広報誌等による情報発信
県内外の寄付文化に関する情報収集と発信

資金循環

“共感”による寄付で、市民活動団体が自律的かつ継続的に活動できる環境づくりをめざす

市民活動を支援する基金の運営
市民活動団体への寄付と助成のプログラム提供
寄付文化を醸成するフォーラム等の開催
他機関の助成プログラム等の支援
企業CSR/CRMの促進

組織概要

名称  公益財団法人
みらいファンド沖縄

英名 Mirai Fund Okinawa Inc. Foundation

設立年月日 2010年4月23日

公益認定日 2011年4月1日

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

代表理事 小阪 亘

設立経緯 財団設立供出金300万円を
93名の市民から寄付を頂いて設立

住所 〒903-0824
沖縄県那覇市首里池端町34 2Fタイフーンfm内

加盟団体 一般社団法人全国コミュニティ財団協会
一般社団法人全国レガシーギフト協会

みらいファンド沖縄は、市民のみなさまからの寄付により、設立した「市民立」の財団です。

沖縄の公益活動団体を意志ある人々によって支え合う——みらいファンド沖縄の設立趣意に共感し、設立時拠出金をご寄付くださいましたみなさまに、感謝申し上げます。



設立時拠出金に寄付くださったみなさま

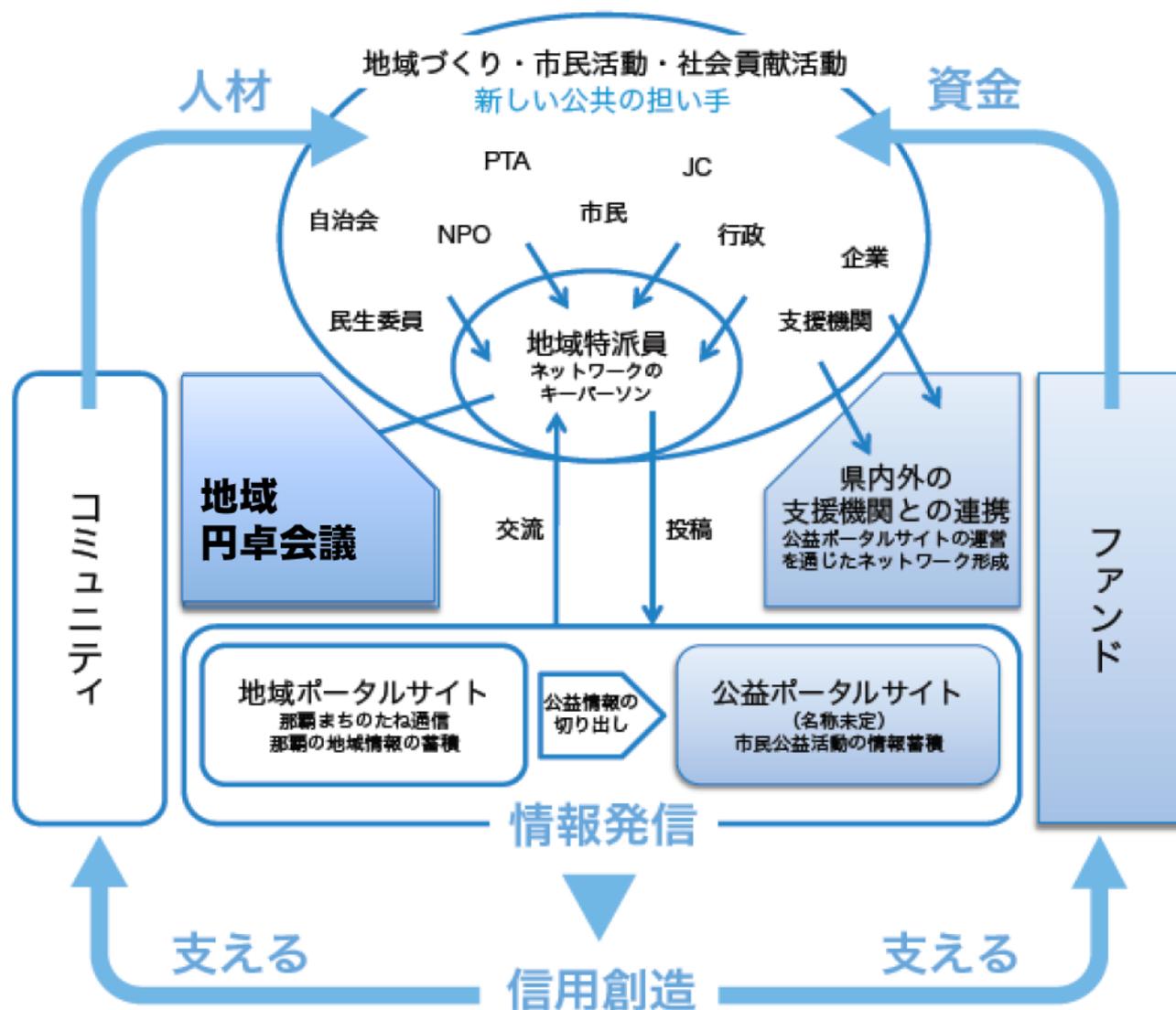
(五十音順・敬称略)

秋葉 武 新井 裕子 新垣 八重子 (有) 新垣ちんすこう菓子店
有井 安仁 東濱 克紀 認定NPO 法人アンビシャス
石原 達也 今津 新之助 岩田 直子 (株) エフエム那覇
(株) エフエム21 遠藤 聡志 大城 逸子 大城 喜江子
大城 幸代 大城 成信 大城 武久 大見謝 恒章
NPO 沖縄シニアの会 川北 秀人 菊之露酒造 (株) 金城 嘉志
金城 和光 (株) クレイ沖縄 古我知 浩 小阪 亘 小橋川 繁
小松 かおり 呉屋 貴司 佐久間 愛弓 下地 美香
(特活) 首里まちづくり研究会 佐脇 広平 新開 育恵
新星出版 (株) 杉浦 幹男 関口 宏聡
税理士法人添石総合会計事務所 添石 幸伸
(特活) ソーシャル・デザイン・ファンド 平良 斗星 平良 恵津子
地域情報エージェント (株) 知花 茂 知念 金徳
(特活) ちゅらしまフォトミュージアム 當間 愛晃 戸田 幸典
渡真利 雅男 仲村 一真 中村 聡 (特活) 日中文化交流センター
比嘉 司 平井 雅 福岡 智子 前田 比呂也 真喜屋 光子
(特活) まちなか研究所わくわく 松本 哲治 宮里 大八
宮道 喜一 宮島 さおり 米野 史健 山城 岩夫 山城 司
与儀 隆一 與古田 清順 (特活) ライフサポートてだこ
(有) ルーツ 若尾 貴広 若尾 美希子 渡邊 真寿美
匿名にて寄付くださった方々

(合計 93 名、300 万円)

みらいファンド沖縄事業スキーム (2010 ⇒ 2017)

社会の共感を育て、資金の循環を促すしくみの構築に取り組む

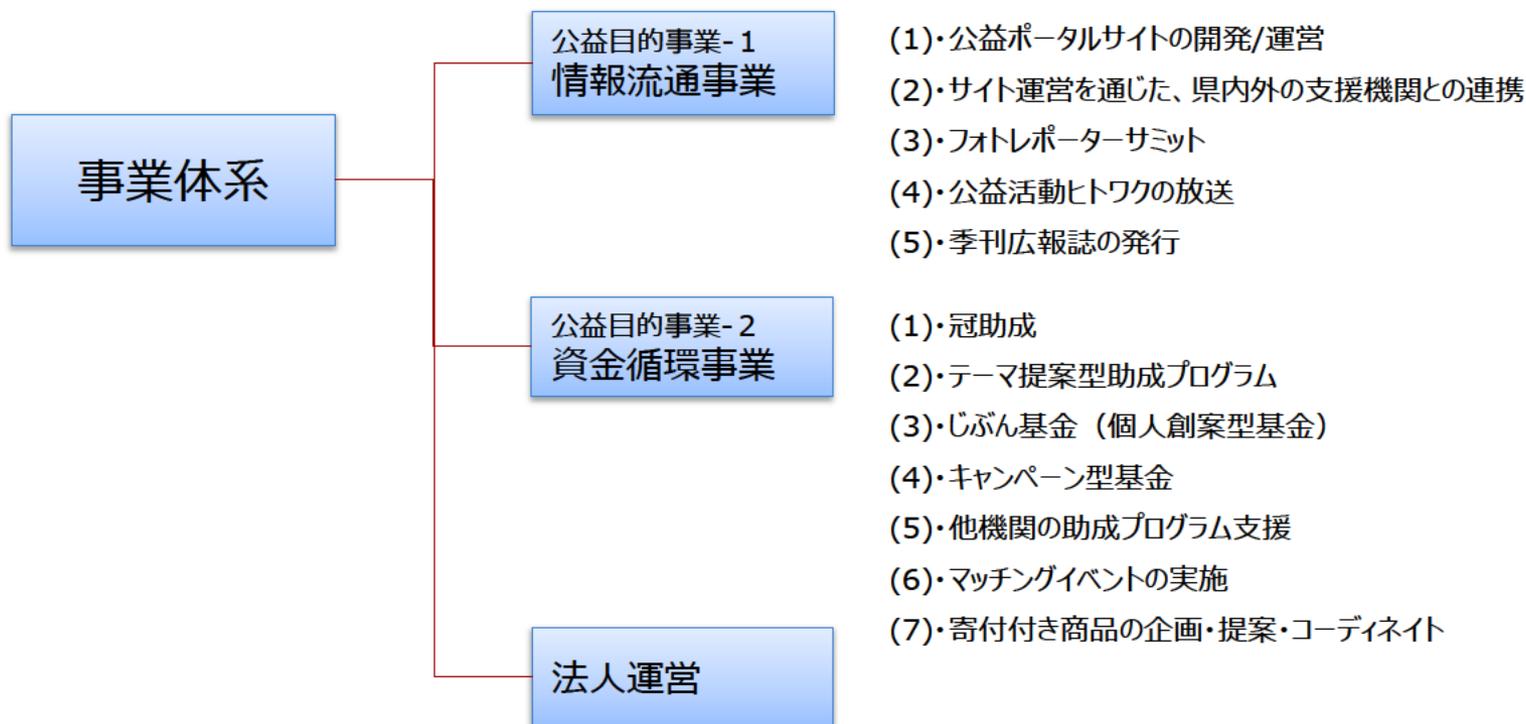


2017年度事業

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。

(全国コミュニティ財団協会資料より抜粋)



2016年度の受人寄付額 29,679,412円 (74件)
前年度比 -9,839,582円 (0件)

基金

寄付総額 19,839,830円 (74件)

- 2017年度内の採択：第10期たくす 3事業
カスタマイズ 1事業
- 沖縄まちと子ども基金、
- じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金

寄付月間2017 沖縄パネル展の開催

- 沖縄県庁1階ロビーにて開催 (12月19日～28日)
参加：NPO6 民間5 沖縄県3
- 寄付月間2017 賛同パートナー特別賞 沖縄県が受賞



寄付月間2017
沖縄県広報誌
美ら島沖縄
12月号
特集寄付月間

助成

「寄付と助成のプログラム」採択が通算26事業に

- じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金 助成実施 2名
- たくす 第9期 2団体
たくす 第10期 3団体
- 寄付募集目標総額 10,336千円 前年度受付寄付総額 631千円



新崎盛暉平和活動奨励基金 第1回
交付式 2017. 6.16 八汐荘

課題 解決

地域円卓会議が好評！ 16回開催・支援

- 開催場所 (那覇市、石垣市、宮古島市、うるま市など)
- テーマ (子どもの貧困、若者の定着と働く場所など)
- 沖縄子ども未来県民会議より5本の円卓会議を受託

コレクティブインパクト事業の実施

- 全国コミュニティ財団協会委託事業で
- 認知症みまもり自販機 ・ 子どもの貧困

遺贈寄付研修・助成財団シンポジウムを開催



若者の定着と働き方を考える地域円卓会議
in 宜野座村2017.2.27



沖縄県広報誌 美ら島沖縄 12月号 特集 寄付月間



美ら島沖縄

内容：寄付月間特集

- ・ 県内の寄付の状況
- ・ 寄付の方法
- ・ 寄付月間事務局長 鶴尾さん
メッセージ
- ・ 寄付活用 わらびの会活動紹介

沖縄県庁職員による フードドライブ



贈呈式の様子

期間：12月18日（月）～ 22日（木）
場所：沖縄県プラザ（受取窓口）
内容：食料60キロ
贈呈先
NPO法人フードバンクセカンド
ハーベスト沖縄

寄付月間パネル展 沖縄県庁1階ロビー



県庁1階ロビーパネル展

期間：12月18日（月）～ 28日（木）
場所：沖縄県1階ロビー

参加団体

- NPO 7団体
- 企業 4団体
- 行政 1団体



暮らし×セーフティネット 円卓会議の実施



円卓会議開催セミナー



「住まい」から考える支援の連携 プレー円卓会議

日時：12月9日（土）12:15～14:45

場所：具志川じんぶん館

着席者

- ・金城隆一（NPO法人沖縄青少年自立援助センター）
- ・秋吉晴子（しんぐるまざあず・ふぉーらむ沖縄）
- ・新垣優美（株式会社LIFULL）
- ・川満孝幸（沖縄県子ども未来政策課）
- ・下地雅美（株式会社レキオス）
- ・宮城 潤（若狭公民館館長）

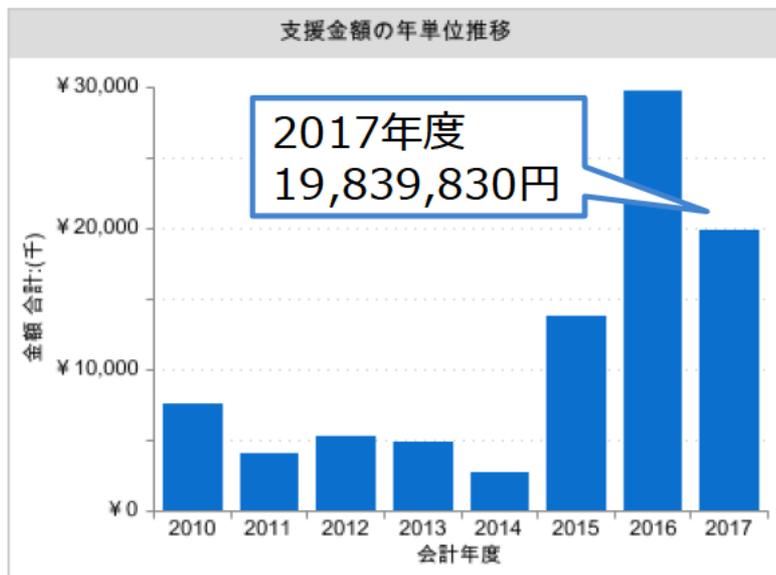
司会進行：平良 斗星

（公益財団法人みらいファンド沖縄）

記録者：宮道 喜一

（NPO法人まちなか研究所わくわく）

寄付金額と件数の推移 (2018.3現在)と2017年度の方針



寄付金額

87,839,405円

延べ寄付者数

797件

2017年度は下記方針で取り組んだ

2017年度 方針

- ◆ 地域円卓会議の取り組みを通じて、課題解決へ向けての取り組みを行う
- ◆ 寄付者が解決したい課題に対して、じぶんの基金が作れるじぶん基金の仕組みを広げる
- ◆ 遺贈寄付の受入体制をつくる（2015年度1件1,000万円実績有）
- ◆ 市民コミュニティ財団ガイドラインに基づく組織運営

2017年度の概況

沖縄の寄付文化醸成のために、2014年6月に一般社団法人全国コミュニティ財団協会を設立し、2017年度で、正会員17団体、準会員8団体と年々増加傾向にあります。当財団は九州ブロック理事として参画し、全国におけるコミュニティ財団の信頼性の向上と政策提言、環境整備に努めています。

一般社団法人レガシーギフト協会にも加盟し、遺贈寄付の環境整備に取り組んでいる。今年度は、遺贈寄付研修を沖縄で初めて開催しました。

12月には、全国で寄付を推進する月間として、「寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう」が行われた。当財団も寄付月間推進委員として沖縄での推進に取り組み、沖縄県とともに県庁ロビーで寄付月間パネル展を開催した。寄付月間2017 賛同パートナー特別賞 沖縄県が受賞しました。

「公1 情報流通事業」は依然として資金の調達が難しい構造になっており、新しい事業資金の調達方法を考えていく必要があると考える。

公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -(1)	公益ポータルサイトの運営	通年	2016年度法人ウェブページをリニューアル 公益活動団体の信頼を育む情報発信をインターネット上で行う。 NPOデータベース登録数：現在335団体 年間閲覧数： ページビュー23,304（昨年度18,657） 24.91%増
公1 -(2)	他機関連携・情報収集	—	<p>全国の動向を知り、沖縄での寄付文化醸成に寄与するため、各機関の研修やフォーラムへ参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おきなわ市民活動支援会議へ参加（月1回） ・全国コミュニティ財団協会（以下全コミ財）へ参加 <ul style="list-style-type: none"> 6/06 第1回 集合研修（京都） 7/09 第1回 九州ブロック会議（長崎） 8/23 第2回 集合研修（愛知） 10/1 第2回 九州ブロック会議（福岡） 10/5 第3回 集合研修・監事研修（岡山） 12/14 第4回 集合研修（東京） 12/16 コレクティブインパクトin九州（佐賀） 2/07 年次大会（東京） 2/24 第3回 九州ブロック会議（佐賀） 3/08 監事研修（大阪） ・全国レガシーギフト協会 ・寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう ・寄付月間推進委員 ・委員：沖縄子ども未来応援県民会議 委員（小阪）



公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -(4)	ソーシャル・ヒトワクの放送	通年 再放送あり	NPOの活動紹介と、NPOの活動を紹介するトーク番組をタイフーンfm (78.0MHz) で放送した。 NPOヒトワク- 放送回数14回 (2010年度からの通算177回)
公1 -(5)	広報誌の発行	2月	みらいファンド沖縄活動報告書の発行は行えなかった
公1 -(5)	メールニュースの発行	通年	イベントや助成金の情報、mfoの支援NPOの紹介等を行うメールニュース及びFBで情報発信を行った。イベント直前等に臨時号を発行している。

2017年度の概況

「寄付と助成のプログラム」では第9期が寄付募集活動支援期間が終了し、第10期は、3事業が採択され寄付募集を行っている。また、寄付と助成のプログラムたくすの高額寄付募集として、カスタマイズ（募集期間・手数料が異なる）を行い、今年度も寄付募集を継続し多額の寄付を寄せていただいています。

じぶん基金の一つである新崎盛暉平和活動奨励基金では、助成の実施から事業報告会まで実施した。助成個人名称を冠したDAF（ドナー・アドバイズド・ファンド）の創設に引き続き力を入れていきます。

今年度は公2 - (5) 他機関の助成プログラム支援に取り組むことが出来ました。助成財団センターとともに、沖縄地域の助成プログラム担当者向けセミナーを開催し、各助成プログラムの向上に貢献することができました。

マッチングイベントでは、2010年度より開催を重ねてきた「地域円卓会議」は引き続き好評で、2017年度は16回開催した。また、全国コミュニティ財団協会より、コレクティブインパクト事業を受託。認知症見守り自販機と子どもの貧困に取り組んだ。

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (1)	世界若者ウチナンチュ大会支援基金	2012年6月設置	<p>世界若者ウチナンチュ大会ペルー大会 日時：2018年2月6日～10日 助成：34,000円</p> <p>基金の今後の展開については、今後も継続することが確認された。</p>
公2 - (1)	沖縄まちと子ども基金	2012年12月設置	<p>第3期報告会の開催 日 時：2018年3月23日（金）19時～21時（開場18時30分） 場 所：天久ヒルトップ「地域交流室」 （那覇市天久1126天久台病院敷地内） 参加者：約20名（報告者込み）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会の挨拶と当基金の説明 2. 報告1 糸数温子さん（一般社団法人ダイモン 代表理事） 「NPO×大学協働＜働くつながる＞事業モデルの構築」 3. 報告2 上間 陽子さん（琉球大学 教育学研究科 教授） 「若年出産者聞き取り調査」 4. トークセッション 報告者4人（しんぐるまざあず・ふぉーらむ秋吉さん、琉球大学野入先生）にみらいファンド沖縄の平良副代表理事を加え、子供の育つ理想の環境とそれを阻む課題に関するトークセッションが行われた。 5. 沖縄まちと子ども基金寄付のお願い



公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 第9期たくす	寄付募集支援期間 2016年9月～ 2017年8月	<p>第9期たくす 2016年9月～2017年8月 採択団体：2団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ N P O乳がん患者の会 ピんく・ぱんさー ・ 琉球フィルハーモニー管弦楽団 <p>寄付受入総額 1,410,000円 助成総額 1,198,500円</p>
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 第10期たくす	寄付募集支援期間 2017年9月～ 2018年8月	<p>募集期間：2017年7月21日～8月18日 対象事業募集 説明会 日時：2017年8月3日（木）19:00～20:00 場所：天久ヒルトップ 相談室</p> <p>選考会： 日時：2017年8月31日（木）15:00～17:00 場所：みらいファンド沖縄事務所</p> <p>採択団体：3団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ N P O乳がん患者の会 ピんく・ぱんさー ・ 琉球フィルハーモニー管弦楽団 ・ NPO法人一万人井戸端会議 <p>寄付募集目標総額 4,705,800円</p>

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ	寄付募集支援期間 第1期 2015年12月～ 2016年11月 第2期 2016年12月～ 2017年11月 第3期 2017年～ 2018年12月	寄付と助成のプログラムたくすのカスタマイズ 高額寄付募集のため、・期間（寄付募集、助成） ・手数料 以外は、通常版とは異なるが、それ以外は寄付と助成のプログラムたくすと同じ仕様 採択団体：特定非営利活動法人 アルコール・薬物依存症リハビリセンター琉球GAIA 寄付募集目標総額：60,000,000円 件数：24件 寄付総額：49,811,000円（2018年3月31日現在）
公2 - (2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ	寄付募集支援期間 2015年9月～	申請団体：一般社団法人長生楽 選考会： 日時：2017年12月19日（木）18:30～19:30 場所：みらいファンド沖縄事務所 採択結果：条件付き採択

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(3)	じぶん基金（個人創案型基金） J003 宮里大八国際交流基金	寄付募集支援期間 2015年9月～	<p>Okinawan Dreams Project2017 沖縄における児童養護施設やひとり親の家庭の子どもたちを対象に、英語によるコミュニケーションを学び、海外留学体験をサポートするプログラム。</p> <p>募集期間：2017年6月12日（月）～7月8日（土） 助成決定数：3人 / 応募総数26人 寄付総額は、305,000円</p>
公2 -(3)	じぶん基金（個人創案型基金） J004 新崎盛暉平和活動奨励基金	2017年1月設置	<p>沖縄の歴史を踏まえ、沖縄の平和と人権を守り、沖縄を世界の平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動を助成することを目的として、この基金を設置します。</p> <p>寄付金額：1,000,000円 募集期間：2017年3月1日（水）～4月30日（水）</p> <p>助成交付式 日時：2017年6月16日 場所：八汐荘</p> <p>採択者 宮城秋乃さん（基地建設の沖縄自然環境への影響を伝えている。 河村雅美さん（The Informed-Public Project（IPP）代表）</p> <p>助成報告会 日時：2018年3月5日 場所：八汐荘</p>

* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(1~3)	以上の基金・プログラムのファン ドレイジング等の支援に関する業 務	1月	<p>NPO向け遺贈寄付入門研修 日 時：2018年1月22日（月）13:30～17:00 場 所：沖縄県総合福祉センター4階 402会議室 参加者：19名</p> <p>士業等専門家向け遺贈寄付アドバイザー研修in沖縄 日 時：2018年1月22日（月）10:00～17:00 場 所：沖縄県総合福祉センター4階 401会議室 参加者：9名</p> <p>講 師： 樽本 哲（弁護士 赤坂シティ法律事務所・NPOのための 弁護士ネットワーク） 本郷順子（本郷順子税理士事務所） 齋藤弘道（野村信託銀行株式会社） 山北洋二（日本ファンドレイジング協会 理事）</p>
公2 -(5)	助成担当者セミナー	11月	<p>助成担当者のための実務セミナーin沖縄 講 師：渡辺 元（（公財）助成財団センター 事務局長/プログラムディレクター） 日 時：2017年11月17日（金）14:00～17:00 場 所：天久ヒルトップ 地域交流室 参加者：23名</p>
公2 -(5)	助成財団シンポジウム	11月	<p>助成財団シンポジウムin沖縄 基調講演：松原 明（シーズ=市民活動を支える制度をつくる会） 日 時：2017年11月18日（土）13:00～18:00 場 所：沖縄大学アネックス共創館 参加者：42名（+関係者22名）</p>

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(6)	地域円卓会議の開催・支援	通年	地域の社会的課題の解決のための対話の場である「地域円卓会議」の開催・支援を行った。 地域円卓会議：16回 参加人数：538名

	日付	内容	主催	参加人数
1	6/2 (金)	シングルマザーと子どもの貧困を考える地域円卓会議	みらいファンド沖縄	34名
2	7/11 (火)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 in南部 (那覇)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	66名
3	7/19 (水)	in中部 (うるま市)		64名
4	11/9 (木)	in石垣		37名
5	11/28 (火)	in宮古島		60名
6	3/14 (水)	in那覇		52名
7	8/2 (水)	若者の定住と働き方を考える地域円卓会議 in宜野湾市		国立大学法人 琉球大学 地 域連携推進機構、 公立大学法人 名桜大学
8	9/1 (金)	in西原町	37名	
9	1/11 (木)	in中城村	26名	
10	12/21 (木)	in金武町	24名	
11	10/24 (火)	沖縄の移住定住を考える 地域円卓会議 in石垣市	沖縄県 企画部地域・離島課	
12	10/25 (水)	inうるま市		
13	10/26 (木)	inやんばる		
14	12/3 (土)	カーミージー周辺の海を みんなで保全・活用するための地域 円卓会議	うらそえ里浜ネットワーク 実行委員会	60名
15	1/28 (日)	孤立と向き合う地域づくりを考える地域円卓会議	NPO法人1万人井戸端会議	21名
16	3/4 (日)	子どもシェルター地域円卓会議	みらいファンド沖縄	23名

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(6)	コレクティブインパクト事業	通年	<p>全国コミュニティ財団協会から助成をいただき、コレクティブインパクトで社会課題解決を行う事業に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症みまもり自販機 ・子どもの貧困問題の解決
公2 -(6)	寄付月間2017	12月	<p>寄付月間パネル展の実施 期間：2017年12月19日（月）～12月28日（水） 場所：沖縄県県庁1階ロビー 参加：NPO6 民間5 沖縄県3</p> <p>沖縄県広報誌 美ら島沖縄 12月号 特集 寄付月間</p> <p>寄付月間2017 賛同パートナー特別賞 沖縄県が受賞</p>
公2 -(6)	各種勉強会の開催	随時	地域円卓会議体験セミナー

その他（法人運営等）

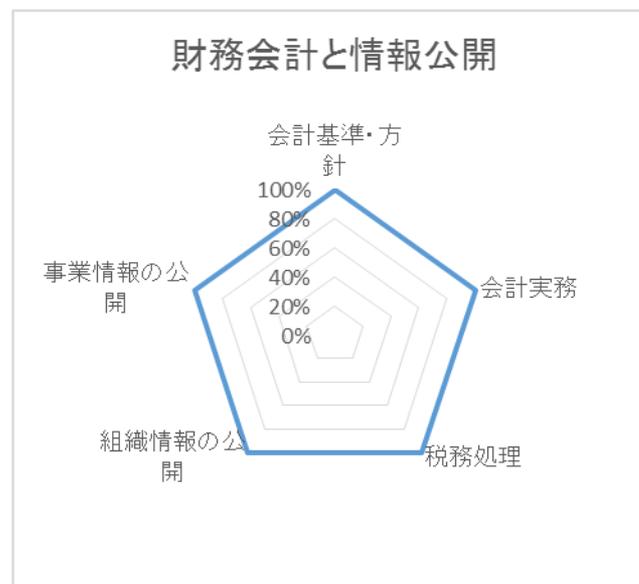
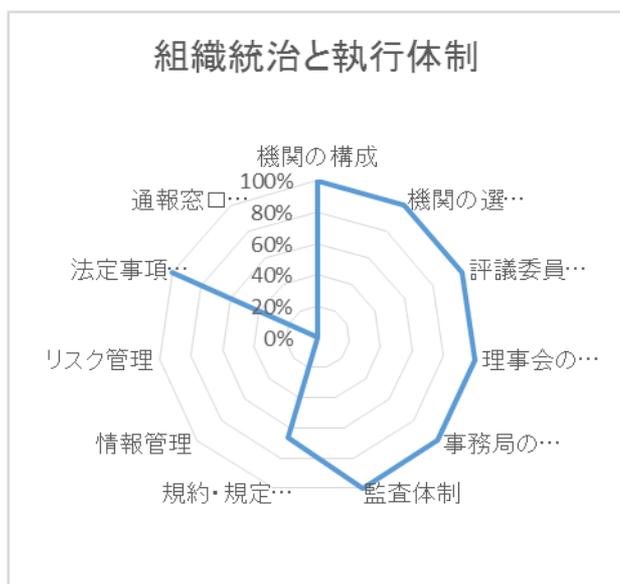
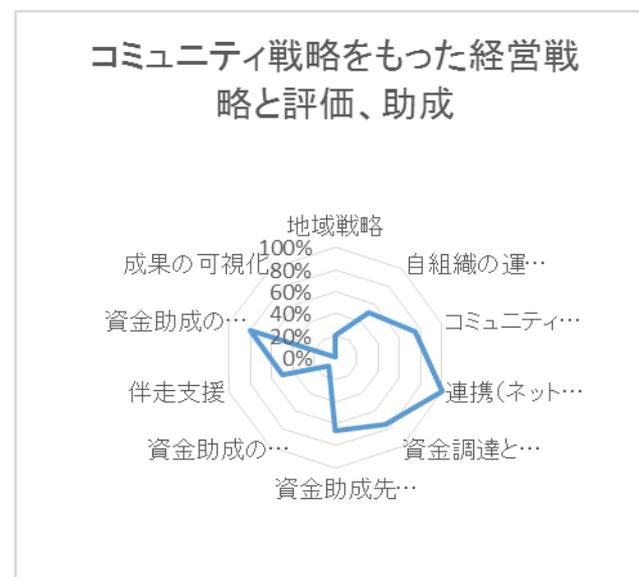
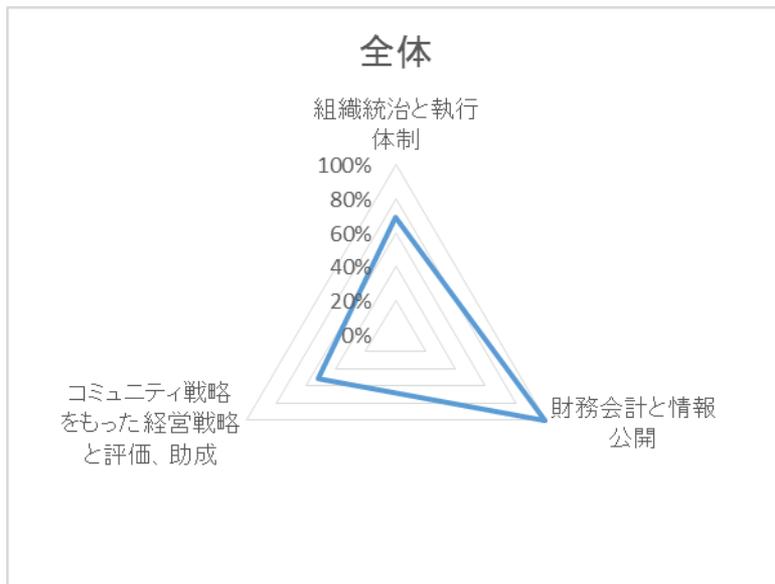
2017年度の概況

法人運営体制について、現在の収入規模に応じた効率的な運営に努め、昨年度に引き続き単年度黒字を達成することができた。一方で年間寄付金額は19,839,830円となり、昨年度に引き続き多額のご寄付をいただくことが出来た。基本財産として300万円を回復した。

また、コミュニティ財団ガイドライン（発行：全国コミュニティ財団協会 2016）に基づき運営を行うためセルフチェックを実施した。

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
法人	定期評議員会の開催	5月	期間：2017年5月25日（木）10:30～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所
法人	理事会の開催	通年	第1回 2017年5月16日（火）10:00～12:00 第2回 2017年11月7日（火）13:00～15:00 第3回 2018年2月22日（木）10:00～12:00 第4回 2018年3月22日（木）13:30～15:30 第5回 2018年3月29日（木）18:30～24:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所
法人	事務局体制	随時	毎週木曜日10時 定例会を常務理事にて実施 職員：新城やよい（週1回勤務） 会計業務：大城税理士事務所に委託

コミュニティ財団ガイドラインによるセルフチェック結果



役員一覧

評議員（任期（4年）：2014年5月22日～2018年評議員会まで）

役職	氏名	所属
評議員	イガキ ジュンイチ 稲垣 純一	沖縄電子ビジネス専門学校 理事
評議員	イマツ シンノスケ 今津 新之助	有限会社ルーツ 代表取締役
評議員	キンジョウ カズミツ 金城 和光	株式会社沖縄ヒューマンキャピタル 代表取締役
評議員	タバタ ハルヨ 田端 温代	
評議員	マキヤ ミツコ 真喜屋 光子	有限会社センチュリー経営企画（マキの靴）代表取締役
評議員	クラオカ タイキ 倉岡 大樹	株式会社ディスカバーウェディング 代表取締役社長

理事（任期（2年）：2016年5月26日～2018年評議員会まで）

役職	氏名	所属
理事 代表理事	コサカ ワタル 小阪 亘	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく 代表理事
理事 副代表理事	タイラ トウセイ 平良 斗星	株式会社エフエム那覇 会長
理事	ミヤザト ダイヤ 宮里 大八	琉球大学 地域連携推進機構 特命准教授
理事	テルキナ トオル 照喜名 通	沖縄県難病相談支援センター 認定NPO法人 アンビシャス 副理事長
理事	チネン タケヒコ 知念 忠彦	医療法人天仁会 天久ヒルトップ 施設長

監事（任期（4年）：2014年5月22日～2018年評議員会まで）

役職	氏名	所属
監事	ナンロ ヨシエ 名城 佳枝	大学非常勤講師、ファイナンシャルプランナー、沖縄県金融広報アドバイザー
監事	ヤマザキ アラタ 山崎 新	株式会社おきなわedu 取締役

受入れ寄付額と助成の実績（2010-2017）

		受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2010 (第1期)	立上期 財団機能 基盤構築	9,197,780円	9,197,780円	5,755,250円	・受入寄付額には拠出金を含む ・震災関連寄付を含む
2011 (第2期)		3,824,684円	13,022,838円	2,427,218円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む ・震災関連寄付を含む
2012 (第3期)	助成プログラ ム・円卓会議 の確立	5,170,037円	18,194,341円	3,709,315円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2013 (第4期)		4,920,777円	23,115,118円	2,383,834円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2014 (第5期)		2,760,362円	25,875,480円	2,549,919円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2015 (第6期)	FR機能の 強化・確立	12,718,093円	38,593,573円	1,745,517円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2016 (第7期)		29,679,412円	68,272,985円	1,325,250円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2017 (第8期)		19,839,830円	87,839,405円	3,287,547円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む

略年表 (2009-2013)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2009 H21	<ul style="list-style-type: none"> •キックオフフォーラム 	<ul style="list-style-type: none"> •衆議院選挙で民主党圧勝 •裁判員制度施行
2010 H22	<ul style="list-style-type: none"> •法人設立 •那覇市「地域づくり・公益活動支援事業」受託（緊急雇用事業） •「じぶん基金」プログラム2基金スタート •沖縄NPOデータベース公開 	<ul style="list-style-type: none"> •普天間基地の辺野古移転が白紙に •沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 •「新しい公共」円卓会議 •11月 仲井真知事 再選 •12月 ISO26000発効 •3/11 東日本大震災
2011 H23	<ul style="list-style-type: none"> •公益財団法人化 •「寄付と助成のプログラム」スタート •H23「沖縄県新しい公共支援事業」受託 •クレジットカードにて寄付決済サービス開始 •PSTをクリアし、税額控除認定を受ける 	<ul style="list-style-type: none"> •6月 新しい市民公益税制が成立 •6月 改正NPO法が成立 •7月 なでしこジャパン FIFA杯優勝 •10月 世界のウチナーンチュ大会
2012 H24	<ul style="list-style-type: none"> •H24沖縄県「新しい公共支援事業」受託 •「世界若者ウチナーンチュ大会支援基金」設置 •カンパイチャリティを開催 •「沖縄まちと子ども基金」設置 	<ul style="list-style-type: none"> •4月 新認定NPO法人制度スタート •5月 沖縄の本土復帰40周年 •8月 ロンドンオリンピック •11月 那覇市長に翁長氏が4選 •12月 衆議院選挙で自民党圧勝 •2月 浦添市にNPO出身の市長が誕生
2013 H25	<ul style="list-style-type: none"> •4月 事務局をタイフーンfm内に移転 •6月 国交省 事業受託 •7月 累積寄付受入額 2000万円を突破 	<ul style="list-style-type: none"> •4月 インターネット選挙解禁 •6月 富士山が世界遺産に •11月 旧民法法人の移行特措期間終了

略年表 (2014-2016)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2014 H26	<ul style="list-style-type: none"> ・6月「寄付と助成のプログラム」を再編し公募開始 ・6月一般社団法人全国コミュニティ財団協会設立、設立時九州ブロック理事として参画 ・3月全国コミュニティ財団協会海外招聘事業フォーラム・研修「米国のコミュニティ財団100年の歴史に学ぶ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 消費税増税 (8%) ・5月 日本創生会議が自治体の896が消滅の危機にあると発表。地方消滅 (通称増田レポートの発表) ・9月 第2次阿部内閣にて、地方創生担当大臣に石破茂とまち・ひと・しごと創生本部を設置。 ・9月 FIFAワールドカップ ブラジル大会 ・12月 沖縄県知事に翁長雄志氏が当選 ・2月 介護保険制度の改正 (要支援1, 2が予防給付の対象除外に)
2015 H27	<ul style="list-style-type: none"> ・10月 じぶん基金 宮里大八国際交流基金を設置 ・12月 寄付月間、全国規模の寄付推進の取り組み、寄付月間推進委員として、沖縄で寄付推進に取り組む ・1月 遺贈寄付 第1号を受け入れる ・2月8日 みらいファンド沖縄5周年記念イベント ドネーションパーティ&サンクスデー ・琉球大学、名城大学とCOC+円卓会議開催 (県内5カ所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・普天間基地の辺野古移転が白紙に ・沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 ・「戦後70年談話」 ・9月10日 関東・東北豪雨 鬼怒川氾濫 ・9月19日 参院本会議で“安保法”可決 ・11月13日 「パリ同時多発テロ」発生 ・12月 寄付月間が、寄付を推進する全国的な取り組み が初めておこなれた。 ・2月 国勢調査で初めて人口減少 1920年の調査開始以来初めて。
2016 H28	<ul style="list-style-type: none"> ・7月 沖縄県が、県内の深刻な子どもの貧困の解決に向けて 沖縄子ども未来県民会議を設置 事業部会の委員として参画 ・11月 マニフェスト大賞 優秀賞 受賞 ・11月 全国レガシーギフト協会 設立総会 (みらいファンド沖縄加盟) ・税額控除認定 更新 ・1月 新崎盛暉平和活動奨励基金 を設置 ・累積寄付受入額 5000万円を突破 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月 日銀がマイナス金利政策を導入したことにより、 長期金利が過去最低を更新 ・4月14日、16日 熊本地震、初めて震度7が2回観測 ・5月 伊勢志摩サミット オバマ米大統領が広島訪問 ・12月2日 休眠預金活用法成立 ・1月 ドナルド・トランプの第45代アメリカ合衆国大統領就任

略年表 (2017-2019)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2017 H29	<ul style="list-style-type: none"> •11月 助成財団シンポジウム（助成財団センター）と実施 •1月 沖縄県で初めて遺贈寄付研修をNPO向け、土業向けに実施 •3月 沖縄県が寄付月間2017で賛同パートナー特別賞を受賞 •3月 1年間で16回の円卓会議を開催（過去で最高件数） 	<ul style="list-style-type: none"> •1月 トランプ大統領就任、米国第一主義を掲げる •3月 特定非営利活動促進法 成立20周年 •7月 都議選で都民ファーストの会が躍進 •9月 桐生 9秒98 日本人初の10秒台突破 •10月 第48回衆議院選挙 自民党が3分の2議席
2018 H30		
2019 H31		

貸借対照表

平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,904,106	4,082,363	1,178,257
未収金	1,415,173	592,050	823,123
たな卸資産	0	8,240	8,240
流動資産合計	4,319,279	4,682,653	363,374
2. 固定資産			
(1)基本財産			
預金(基)	3,060,011	0	3,060,011
基本財産合計	3,060,011	0	3,060,011
(2)特定資産			
資金循環事業基金	50,561,273	36,730,861	13,830,412
特定資産合計	50,561,273	36,730,861	13,830,412
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	53,621,284	36,730,861	16,890,423
資産合計	57,940,563	41,413,514	16,527,049
負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,068,724	996,441	1,072,283
預り金	11,831	95,512	83,681
流動負債合計	2,080,555	1,091,953	988,602
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,080,555	1,091,953	988,602
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	50,561,273	36,730,861	13,830,412
指定正味財産合計	50,561,273	36,730,861	13,830,412
2. 一般正味財産			
正味財産合計	5,298,735	3,590,700	1,708,035
負債及び正味財産合計	57,940,563	41,413,514	16,527,049

貸借対照表内訳表

平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	0	2,904,106	2,904,106
未収金	669,564	745,609	1,415,173
流動資産合計	669,564	3,649,715	4,319,279
2. 固定資産			
(1)基本財産			
預金(基)	3,060,011	0	3,060,011
基本財産合計	3,060,011	0	3,060,011
(2)特定資産			
資金循環事業基金	50,561,273	0	50,561,273
特定資産合計	50,561,273	0	50,561,273
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	53,621,284	0	53,621,284
資産合計	54,290,848	3,649,715	57,940,563
負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,994,983	73,741	2,068,724
預り金	0	11,831	11,831
流動負債合計	1,994,983	85,572	2,080,555
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,994,983	85,572	2,080,555
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	50,561,273	0	50,561,273
指定正味財産合計	50,561,273	0	50,561,273
2. 一般正味財産			
正味財産合計	1,734,592	3,564,143	5,298,735
負債及び正味財産合計	52,295,865	3,564,143	55,860,008
負債及び正味財産合計	54,290,848	3,649,715	57,940,563

正味財産増減計算書

平成 29年 4月 1日 から平成 30年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
自主事業	139,640	27,000	112,640
委託事業	5,961,000	8,926,360	2,965,360
事業収益計	6,100,640	8,953,360	2,852,720
受取寄付金			
受取寄付金	2,702,580	2,251,552	451,028
受取寄付金振替額	3,306,838	1,328,606	1,978,232
受取寄付金計	6,009,418	3,580,158	2,429,260
雑収益			
受取利息	425	422	3
雑収益	114,300	0	114,300
雑収益計	114,725	422	114,303
経常収益計	12,224,783	12,533,940	309,157
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	480,000	480,000	0
給料手当	0	3,160,800	3,160,800
福利厚生費	0	3,084	3,084
旅費交通費	413,034	535,332	122,298
通信運搬費	15,582	23,370	7,788
消耗品費	38,543	134,816	96,273
印刷製本費	22,495	184,970	162,475
賃借料	315,000	405,000	90,000
諸謝金	150,000	0	150,000
租税公課	1,000	10,600	9,600
支払負担金	120,000	160,000	40,000
支払助成金	3,287,547	1,325,250	1,962,297
委託費	1,827,344	2,924,280	1,096,936
外注工賃	2,562,855	668,000	1,894,855
雑費	204,699	74,584	130,115
事業費計	9,438,099	10,090,086	651,987
管理費			
役員報酬	120,000	120,000	0
給料手当	180,300	0	180,300
福利厚生費	0	1,028	1,028
交際費	6,000	0	6,000
通信運搬費	1,353	6,916	5,563
消耗品費	8,600	3,000	5,600
賃借料	105,000	135,000	30,000
諸謝金	481,296	469,416	11,880
租税公課	0	800	800
雑費	176,100	51,400	124,700
管理費計	1,078,649	787,560	291,089
経常費用計	10,516,748	10,877,646	360,898
評価損益等調整前当期経常増減額	1,708,035	1,656,294	51,741
当期経常増減額	1,708,035	1,656,294	51,741
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,708,035	1,656,294	51,741
当期一般正味財産増減額	1,708,035	1,656,294	51,741
一般正味財産期首残高	3,590,700	1,934,406	1,656,294
一般正味財産期末残高	5,298,735	3,590,700	1,708,035
指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	17,137,250	27,427,860	10,290,610
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	3,306,838	1,328,606	1,978,232
当期指定正味財産増減額	13,830,412	26,099,254	12,268,842
指定正味財産期首残高	36,730,861	10,631,607	26,099,254
指定正味財産期末残高	50,561,273	36,730,861	13,830,412
正味財産期末残高	55,860,008	40,321,561	15,538,447

正味財産増減計算書内訳表
平成 29年 4月 1日 から平成 30年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	情報流通	資金循環	共通	小計		
一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
事業収益						
自主事業	46,360	93,280	0	139,640	0	139,640
委託事業	200,000	4,570,501	0	4,770,501	1,190,499	5,961,000
事業収益計	246,360	4,663,781	0	4,910,141	1,190,499	6,100,640
受取寄付金						
受取寄付金	0	264,260	0	264,260	2,438,320	2,702,580
受取寄付金振替額	0	3,306,838	0	3,306,838	0	3,306,838
受取寄付金計	0	3,571,098	0	3,571,098	2,438,320	6,009,418
雑収益						
受取利息	0	0	0	0	425	425
雑収益	0	64,300	0	64,300	50,000	114,300
雑収益計	0	64,300	0	64,300	50,425	114,725
経常収益計	246,360	8,299,179	0	8,545,539	3,679,244	12,224,783
(2) 経常費用						
事業費						
役員報酬	60,000	420,000	0	480,000	0	480,000
旅費交通費	264,054	148,980	0	413,034	0	413,034
通信運搬費	216	15,366	0	15,582	0	15,582
消耗品費	0	38,543	0	38,543	0	38,543
印刷製本費	8,240	14,255	0	22,495	0	22,495
賃借料	16,800	298,200	0	315,000	0	315,000
諸謝金	0	150,000	0	150,000	0	150,000
租税公課	0	1,000	0	1,000	0	1,000
支払負担金	120,000	0	0	120,000	0	120,000
支助助成金	0	3,287,547	0	3,287,547	0	3,287,547
委託費	0	1,827,344	0	1,827,344	0	1,827,344
外注工賃	0	2,562,855	0	2,562,855	0	2,562,855
雑費	1,080	203,619	0	204,699	0	204,699
事業費計	470,390	8,967,709	0	9,438,099	0	9,438,099
管理費						
役員報酬	0	0	0	0	120,000	120,000
給料手当	0	0	0	0	180,300	180,300
交際費	0	0	0	0	6,000	6,000
通信運搬費	0	0	0	0	1,353	1,353
消耗品費	0	0	0	0	8,600	8,600
賃借料	0	0	0	0	105,000	105,000
諸謝金	0	0	0	0	481,296	481,296
雑費	0	0	0	0	176,100	176,100
管理費計	0	0	0	0	1,078,649	1,078,649
経常費用計	470,390	8,967,709	0	9,438,099	1,078,649	10,516,748
評価損益等調整前当期経常増減額	224,030	668,530	0	892,560	2,600,595	1,708,035
当期経常増減額	224,030	668,530	0	892,560	2,600,595	1,708,035
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	124,964	128,937	3,060,011	3,313,912	3,313,912	0
税引前当期一般正味財産増減額	99,066	539,593	3,060,011	2,421,352	713,317	1,708,035
当期一般正味財産増減額	99,066	539,593	3,060,011	2,421,352	713,317	1,708,035
一般正味財産期首残高	94,066	780,826	0	686,760	4,277,460	3,590,700
一般正味財産期末残高	5,000	1,320,419	3,060,011	1,734,592	3,564,143	5,298,735
指定正味財産増減の部						
受取寄付金						
受取寄付金	0	17,137,250	0	17,137,250	0	17,137,250
一般正味財産への振替額						
一般正味財産への振替額	0	3,306,838	0	3,306,838	0	3,306,838
当期指定正味財産増減額	0	13,830,412	0	13,830,412	0	13,830,412
指定正味財産期首残高	0	36,730,861	0	36,730,861	0	36,730,861
指定正味財産期末残高	0	50,561,273	0	50,561,273	0	50,561,273
正味財産期末残高	5,000	49,240,854	3,060,011	52,295,865	3,564,143	55,860,008

財産目録

平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
普通預金	琉球銀行 壺屋支店 沖縄銀行 首里支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 郵便振替口座	運転資金として " " " (まちと子ども基金) " (ガイア) " (乳がん) " (新崎盛暉) 運転資金として	1,511,391 517,166 627,083 3 6,207 17,250 225,006 0
未収金	弘前大学 沖縄子どもの未来県民会議 北那覇税務署	視察受入謝金 円卓会議委託収入 源泉所得税	40,000 1,339,127 36,046
流動資産合計			4,319,279
(固定資産)			
基本財産	普通預金	琉球銀行 首里支店	3,060,011
特定資産	資金循環事業基金	沖縄銀行 鳥堀支店他 沖縄銀行 鳥堀支店 琉球銀行 首里支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店	寄付と助成プログラム 313,573 テーマ型(まちと子ども基金) 775,977 テーマ型(まちと子ども基金) 191,821 寄付と助成プログラム(ガイア) 46,822,340 宮里大八国際交流基金 13,773 新崎盛暉平和活動奨励基金 2,443,789
固定資産合計			53,621,284
資産合計			57,940,563
(流動負債)			
未払金	(特非)まちなか研究所わくわく (株)スタートライン 花風 理事、職員 大城税理士事務所	円卓会議運営費 委託料 WEBサイト更新費 役員報酬、給与 税理士報酬(3月分)	1,260,650 613,333 81,000 77,300 36,441
預り金		報酬源泉所得税	11,831
流動負債合計			2,080,555
固定負債合計			0
負債合計			2,080,555
正味財産			55,860,008

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の会計処理は、最終仕入原価法によっている。

(2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金(基)	0	3,060,011	0	3,060,011
小計	0	3,060,011	0	3,060,011
特定資産				
資金循環事業基金	36,730,861	17,201,550	3,371,138	50,561,273
小計	36,730,861	17,201,550	3,371,138	50,561,273
合計	36,730,861	20,261,561	3,371,138	53,621,284

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金(基)	3,060,011	0	3,060,011	
小計	3,060,011	0	3,060,011	
特定資産				
資金循環事業基金	50,561,273	50,561,273	0	0
小計	50,561,273	50,561,273	0	0
合計	50,561,273	50,561,273	0	0

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額 (各事業団体への寄付金助成のため)	3,306,838
	3,306,838

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	預金(基)	0	3,060,011	0	3,060,011
	基本財産計	0	3,060,011	0	3,060,011
特定資産	資金循環事業基金	36,730,861	17,201,550	3,371,138	50,561,273
	特定資産計	36,730,861	17,201,550	3,371,138	50,561,273

平成29年度 監査報告書

公益財団法人 みらいファンド沖縄
代表理事 小 阪 亘 殿

公益財団法人みらいファンド沖縄定款第33条の規定に基づき平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1 監査の方法の概要

(1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。

〈確認事項〉

- ・源泉所得税の未収金について、聞き取りにより過払い分を今後支払予定の源泉分と精算するための金額であると確認。
- ・基本財産に記載の300万円あまりの普通預金は、法人会計ではなく、公益目的事業会計に記載で妥当。

(2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

平成30年4月27日

公益財団法人みらいファンド沖縄

監事 山崎 新

監事 名城 佳枝



公益財団法人

みらいファンド沖縄

2018年度
平成30年度

第9期

事業報告書（案）

2019.5.14

2011年の、東日本大震災による寄付への関心・意識の高まりや、「市民公益税制」の整備、そして2012年の、内閣府の基金事業「新しい公共支援事業」をきっかけとする市民コミュニティ財団設立の動き、またクラウドファンディングの浸透など、寄付や社会貢献への意識や期待は高まっています。2014年には、市民コミュニティ財団の全国組織である一般社団法人全国市民コミュニティ財団協会が設立しました。

2018年度は、NPO等市民公益活動団体への支援プログラム「寄付と助成のプログラム」に加え、地域円卓会議の取り組みも年間8回実施しました。また、東近江市、千葉県、静岡県、佐賀県、においても沖縄式地域円卓会議の手法を用い地域課題の共有の取り組み、広がりを見せています。また、遺贈寄付の取り組みを広げることから、専門家とともに遺贈寄付勉強会を隔月で開催し、遺贈寄付が安心して行われるよう環境整備に取り組みました。

2016年12月9日には休眠預金活用法案も成立し、2019年1月には指定活用団体がJANPIAに決定しました。社会的投資の視点で国や企業、社会の資金の活用が図られる一方でその成果も厳しくみられ、社会インパクト評価として、評価軸の模索が始まっています。

社会環境が大きく変化した年でしたが、本年度も当財団は、地域の困りごとを解決するための基金として、企業や個人の寄付を解決に取り組むところへ届けました。

組織理念：みらいファンド沖縄のミッションとビジョン

社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

当法人は、沖縄における公益活動団体と、公益活動を支えたい企業、団体、個人等とを橋渡しするため、市民活動の社会的基盤の充実を図り、諸資源の循環をもたらすことで、地域のあらゆる主体が公益を担い、沖縄の未来を支え合う社会の実現に寄与することを目的とする。
(定款第3条)

情報流通

市民活動の情報発信を促進し、
市民の“共感”を育む

公益ポータルサイトの運営
ソーシャル・ヒトワク
広報誌等による情報発信
県内外の寄付文化に関する情報収集と発信

資金循環

“共感”による寄付で、市民活動
団体が自律的かつ継続的に活動
できる環境づくりをめざす

市民活動を支援する基金の運営
市民活動団体への寄付と助成のプログラム提供
寄付文化を醸成するフォーラム等の開催
他機関の助成プログラム等の支援
企業CSR/CRMの促進

組織概要

名称  公益財団法人
みらいファンド沖縄

英名 Mirai Fund Okinawa Inc.Foundation

設立年月日 2010年4月23日

公益認定日 2011年4月1日

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

代表理事 小阪 亘

設立経緯 財団設立供出金300万円を
93名の市民から寄付を頂いて設立

住所 〒903-0824
沖縄県那覇市首里池端町34 2F内

加盟団体 一般社団法人全国コミュニティ財団協会
一般社団法人全国レガシーギフト協会
沖縄の子どもの未来県民会議

みらいファンド沖縄は、市民のみなさまからの寄付により、設立した「市民立」の財団です。

沖縄の公益活動団体を意志ある人々によって支え合う——みらいファンド沖縄の設立趣意に共感し、設立時拠出金をご寄付くださいましたみなさまに、感謝申し上げます。



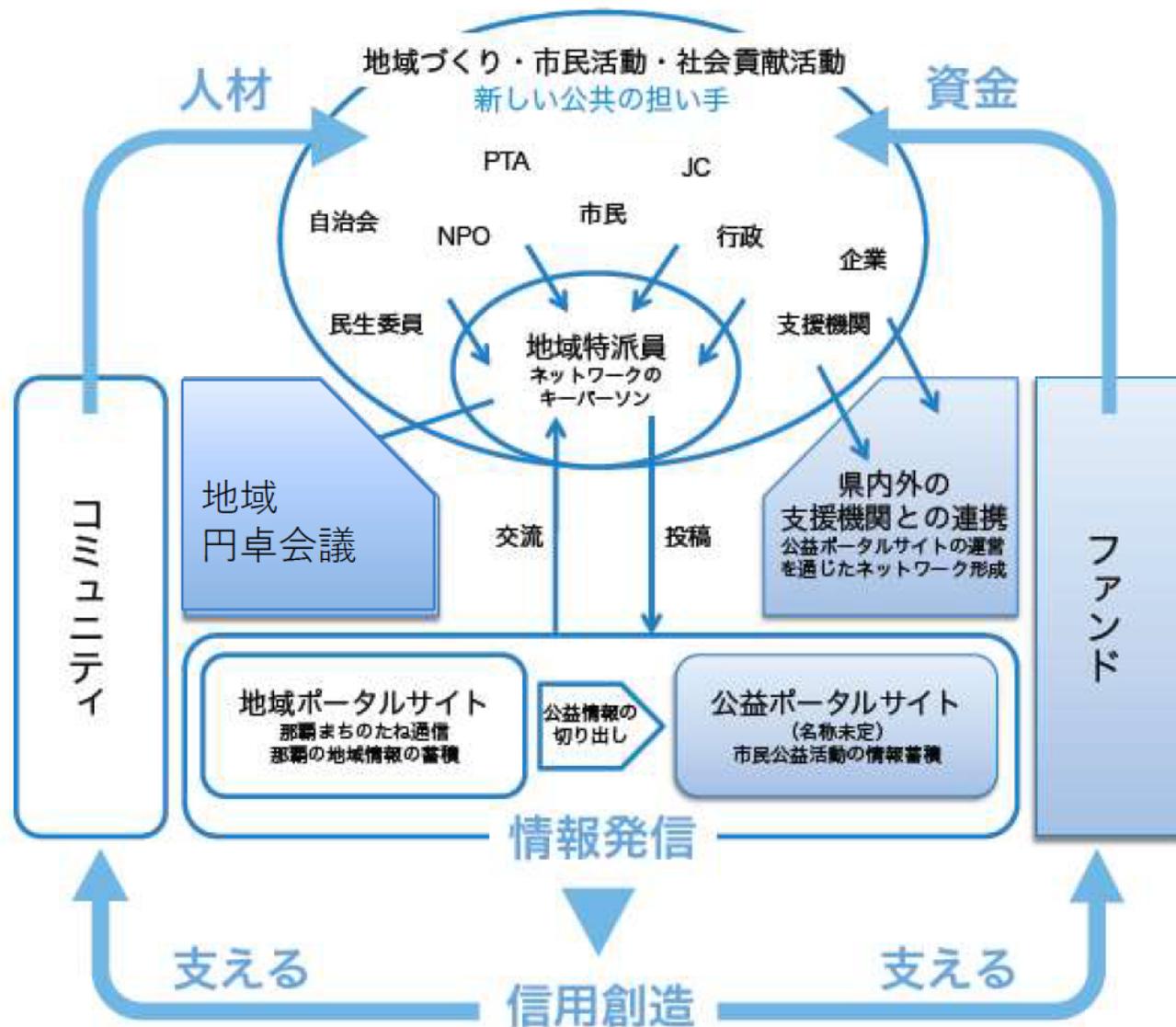
設立時拠出金に寄付くださったみなさま (五十音順・敬称略)

秋葉 武 新井 裕子 新垣 八重子 (有)新垣ちんすこう菓子店
有井 安仁 東濱 克紀 認定NPO 法人アンビシャス
石原 達也 今津 新之助 岩田 直子 (株)エフエム那覇
(株)エフエム21 遠藤 聡志 大城 逸子 大城 喜江子
大城 幸代 大城 成信 大城 武久 大見謝 恒章
NPO 沖縄シニアの会 川北 秀人 菊之露酒造(株) 金城 嘉志
金城 和光 (株)クレイ沖縄 古我知 浩 小阪 亘 小橋川 繁
小松 かおり 呉屋 貴司 佐久間 愛弓 下地 美香
(特活) 首里まちづくり研究会 佐脇 広平 新開 育恵
新星出版(株) 杉浦 幹男 関口 宏聡
税理士法人添石綜合会計事務所 添石 幸伸
(特活) ソーシャル・デザイン・ファンド 平良 斗星 平良 恵津子
地域情報エージェント(株) 知花 茂 知念 金徳
(特活) ちゅらしまフォトミュージアム 當間 愛晃 戸田 幸典
渡真利 雅男 仲村 一真 中村 聡 (特活) 日中文化交流センター
比嘉 司 平井 雅 福岡 智子 前田 比呂也 真喜屋 光子
(特活) まちなか研究所わくわく 松本 哲治 宮里 大八
宮道 喜一 宮島 さおり 米野 史健 山城 岩夫 山城 司
与儀 隆一 與古田 清順 (特活) ライフサポートてだこ
(有) ルーツ 若尾 貴広 若尾 美希子 渡邊 真寿美
匿名にて寄付くださった方々

(合計93名、300万円)

みらいファンド沖縄事業スキーム (2010 ⇒ 2018)

社会の共感を育て、資金の循環を促すしくみの構築に取り組む

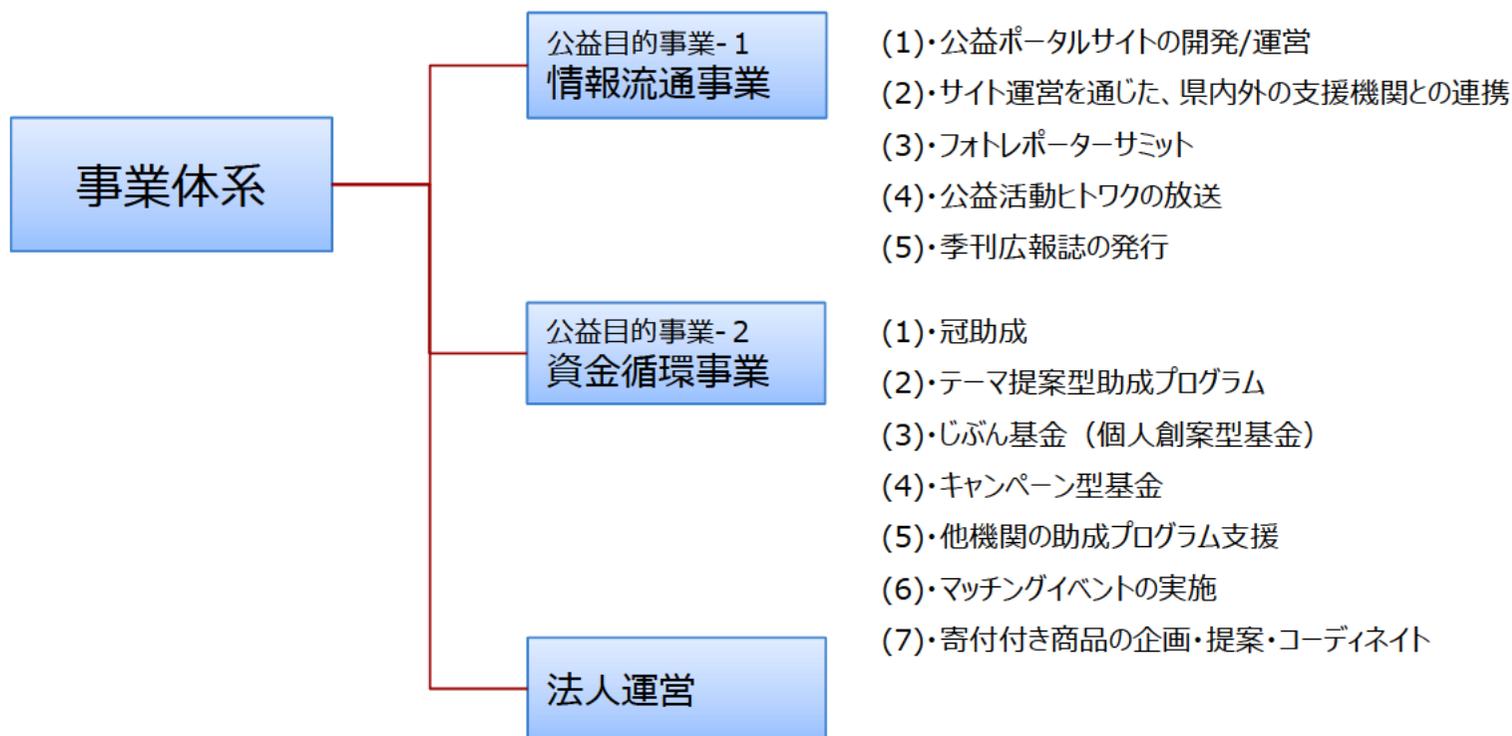


2018年度事業

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。

(全国コミュニティ財団協会資料より抜粋)



2017年度の実入寄付額 19,839,830円 (74件)
前年度比 10,509,639円 (-4件)

基金

寄付総額 30,349,469円 (70件)

- 2018年度内の採択：第11期たくす 3事業
カスタマイズ 1事業
 - じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金、宮里大八国際交流基金
 - 沖縄まちと子ども基金、
- 寄付募集目標総額 10,336千円 前年度受付寄付総額 631千円

寄付月間2018 沖縄パネル展の開催

- 沖縄県庁1階ロビーにて開催 (12月3日～7日)
- 参加：NPO8 民間6 沖縄県1 大学1



地域づくりのための助成事業活用シンポジウム
2018.7.8

助成

「寄付と助成のプログラム」採択が通算29事業に

- たくす 第10期 3団体
- たくす 第11期 3団体、 カスタマイズ 2団体
- じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金 助成実施 2名

課題 解決

地域円卓会議が好評！ 8回開催・支援

- 開催場所 (那覇市、西原町、南城市など)
 - テーマ (子どもの貧困、認知症見守り、島へのUターン等)
 - 沖縄子どもの未来県民会議より3本の円卓会議を受託
- コレクティブインパクト事業の実施

全国コミュニティ財団協会委託事業で

- 認知症みまもり自販機 ・ 子どもの貧困

遺贈寄付勉強会・助成財団シンポジウムを開催



沖縄子どもの未来県民会議 地域円卓会議
in 沖縄県立図書館 2019.2.12

寄付月間2018 沖縄



沖縄県庁職員による フードドライブ



贈呈式の様子

期間：12月3日（月）～14日（金）
場所：沖縄県プラザ（受取窓口）
内容：食料208キロ
贈呈先
NPO法人フードバンクセカンド
ハーベスト沖縄

寄付月間パネル展 沖縄県庁1階ロビー



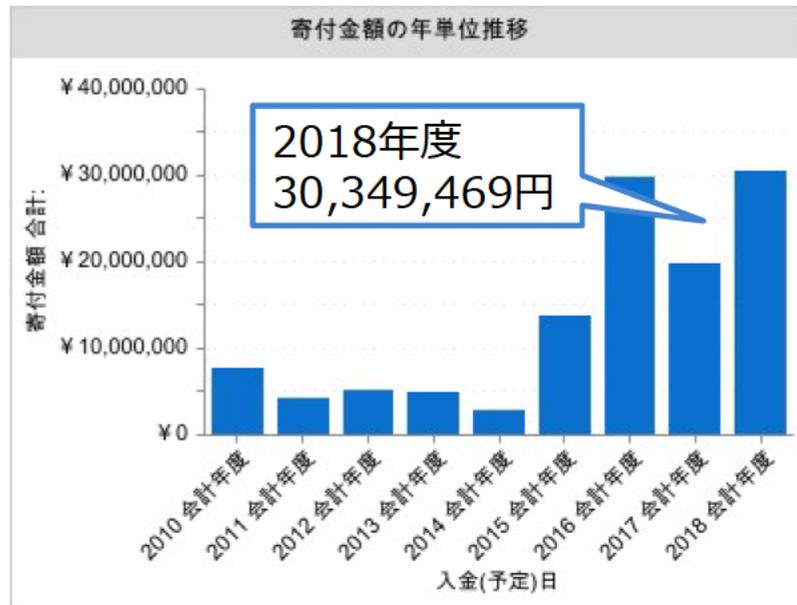
県庁1階ロビーパネル展

期間：12月3日（月）～7日（金）
場所：沖縄県1階ロビー

参加団体

NPO 8団体
企業 6団体
行政 1団体
大学 1団体

2018年度寄付金額と件数の推移



寄付総額

118,188,874円



延べ寄付者数

867件

2018年度は下記方針で取り組んだ

2018年度 方針

- ◆ 地域円卓会議の取り組みを通じて、課題解決へ向けての取り組みを行う
- ◆ 寄付者が解決したい課題に対して、じぶんの基金が作れるじぶん基金の仕組みを広げる
- ◆ 遺贈寄付の受入体制をつくる（2015年度1件1,000万円実績有）
- ◆ 市民コミュニティ財団ガイドラインに基づく組織運営

公1 情報流通事業

2018年度の概況

沖縄の寄付文化醸成のために、2014年6月に一般社団法人全国コミュニティ財団協会を設立し、2018年度で、正会員17団体、準会員8団体と年々増加傾向にあります。当財団は九州ブロック理事として参画し、全国におけるコミュニティ財団の信頼性の向上と政策提言、環境整備に努めています。

一般社団法人レガシーギフト協会にも加盟し、遺贈寄付の環境整備に取り組んでいる。今年度は、遺贈寄付研修を沖縄で初めて開催しました。

12月には、全国で寄付を推進する月間として、「寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう」が行われた。当財団も寄付月間推進委員として沖縄での推進に取り組み、沖縄県とともに県庁ロビーで寄付月間パネル展を開催した。寄付月間2017 賛同パートナー特別賞 沖縄県が受賞しました。

「公1 情報流通事業」は依然として資金の調達が難しい構造になっており、新しい事業資金の調達方法を考えていく必要があると考える。

公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -(1)	公益ポータル ^o の運営	通年	NPOデータベース登録数：現在335団体 年間閲覧数：ページビュー21,286（昨年度23,304）-8.66%減 今年度は更新ページを少し工夫して読み物ページなど検索にあたりやすい施策を行っていく。また、どのページで離脱しているのかを計測・判断し、「ページ離脱」の改善も行っていく。
公1 -(2)	他機関連携・情報収集	—	全国の動向を知り、沖縄での寄付文化醸成に寄与するため、各機関の研修やフォーラムへ参加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・おきなわ市民活動支援会議へ参加（月1回） ・全国コミュニティ財団協会（以下全コミ財）へ参加 理事会、研修会への参加 ・全国レガシーギフト協会 ・寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう ・寄付月間推進委員 ・委員：沖縄子どもの未来応援県民会議 事業推進部会 委員（小阪）

公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -(4)	ソーシャル・ヒトワクの放送	通年 再放送あり	NPOの活動紹介と、NPOの活動を紹介するトーク番組をタイフーンfm (78.0MHz) で放送した。 NPOヒトワク- 放送回数12回 (2010年度からの通算189回)
公1 -(5)	広報誌の発行	12月	みらいファンド沖縄活動報告書 (2010-2018) を発行した 
公1 -(5)	メールニュースの発行	通年	イベントや助成金の情報、mfoの支援NPOの紹介等を行うメールニュース及びFBで情報発信を行った。イベント直前等に臨時号を発行している。

公2 資金循環事業

2018年度の概況

「寄付と助成のプログラム」では第10期が寄付募集活動支援期間が終了し、第11期は、3事業が採択され寄付募集を行っている。また、寄付と助成のプログラムたくすの高額寄付募集として、カスタマイズ（募集期間・手数料が異なる）を行い、今年度も寄付募集を継続し多額の寄付を寄せていただいています。

じぶん基金の一つである新崎盛暉平和活動奨励基金では、助成の実施から事業報告会まで実施した。助成個人名称を冠したDAF（ドナー・アドバイズド・ファンド）の創設に引き続き力を入れていきます。

今年度は公2 - (5) 他機関の助成プログラム支援に取り組むことが出来ました。助成財団センターとともに、沖縄地域の助成プログラム担当者向けセミナーを開催し、各助成プログラムの向上に貢献することができました。

マッチングイベントでは、2010年度より開催を重ねてきた「地域円卓会議」は引き続き好評で、2018年度は8回開催した。また、全国コミュニティ財団協会より、コレクティブインパクト事業を受託。認知症見守り自販機と子どもの貧困に取り組んだ。

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(1)	世界若者ウチナンチュ大会支援基金	2012年6月設置	基金の今後の展開については、今後も継続することが確認された。
公2 -(1)	沖縄まちと子ども基金	2012年12月設置	募集するも申請がなく次期繰り越し

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -2)	寄付と助成のプログラム 第10期たくす	寄付募集支援期 間 2017年9月～ 2018年8月	第10期たくす 2017年9月～2018年8月 採択団体：3団体 ・NPO乳がん患者の会 ピんく・ぱんさー ・琉球フィルハーモニー管弦楽団 ・NPO法人一万人井戸端会議 寄付受入総額 1,490,000円 助成総額 1,323,073円
公2 -2)	寄付と助成のプログラム 第11期たくす	寄付募集支援期 間 2018年9月～ 2019年8月	募集期間：2018年7月10日～8月10日 対象事業募集 説明会 日時：2018年8月2日（木）19:00～20:00 場所：天久ヒルトップ 相談室 選考会： 日時：2018年8月28日（火）10:30～12:00 場所：みらいファンド沖縄事務所 採択団体：3団体 ・NPO乳がん患者の会 ピんく・ぱんさー ・琉球フィルハーモニー管弦楽団 ・NPO法人ちゅらゆい 寄付募集目標総額 9,660,000円

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ 	寄付募集支援期間 第1期 2015年12月～ 2016年11月 第2期 2016年12月～ 2017年11月 第3期 2017年～ 2018年12月	寄付と助成のプログラムたくすのカスタマイズ 高額寄付募集のため、・期間（寄付募集、助成） ・手数料 以外は、通常版とは異なるが、それ以外は寄付と助成のプログラム たくすと同じ仕様 採択団体：特定非営利活動法人 アルコール・薬物依存症リハビリセンター琉球GAIA 寄付募集目標総額：60,000,000円 件数：27件 寄付総額：70,820,000円（2019年3月31日現在） 助成総額 66,566,100円（2019年3月31日現在） 助成事業実施報告完了
公2 - (2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ	寄付募集支援期間 2019年1月～	申請団体：一般社団法人長生楽 選考会： 日時：2017年12月19日（木）18:30～19:30 場所：みらいファンド沖縄事務所 採択結果：条件付き採択 寄付募集目標総額：3,000,000円 件数：2件 寄付総額：1,160,000円（2019年3月31日現在）

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (3)	じぶん基金（個人創案型基金） J003 宮里大八国際交流基金	寄付募集支援期 間 2015年9月～	<p>Okinawan Dreams Project2018 沖縄における児童養護施設やひとり親の家庭の子どもたちを対象に、英語によるコミュニケーションを学び、海外留学体験をサポートするプログラム。 募集期間：2018年6月12日（火）～7月6日（金） 助成決定数：4人 / 応募総数15人 寄付受入総額は、3,048,029円（2019年3月31日現在）</p>
公2 - (3)	じぶん基金（個人創案型基金） J004 新崎盛暉平和活動奨励基金	2017年1月設置 寄付募集支援期 間 2017年3月～	<p>沖縄の歴史を踏まえ、沖縄の平和と人権を守り、沖縄を世界の平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動を助成することを目的として、この基金を設置します。</p> <p>寄付募集目標金額：3,000,000円 （第2期）募集期間：2018年3月6日（水）～6月15日（金）</p> <p>選考会： 日時：2018年6月18日（月）18:30～20:30 場所：みらいファンド沖縄事務所</p> <p>助成金額：30万円 渡嘉敷健さん（基地建設の沖縄自然環境への影響を伝えている） 助成金額：40万円 金 間愛さん（The Informed-Public Project（IPP）代表）</p> <p>助成報告会 日時：2019年5月下旬予定 場所：八汐荘</p>



選考会の様子
2018.6.18

* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(1~3)	以上の基金・プログラムのファン ドレイジング等の支援に関する業 務	1月	遺贈寄付勉強会の実施 参加団体 みらいファンド沖縄、シナジープラス、TAパートナーズ など
公2 -(5)	地域づくりのための 助成事業活用シンポジウム	7月8日	<p>地域づくりのための助成事業活用シンポジウム</p> <p>日 時：2018年7月8日（日）13:00～17:00 場 所：沖縄県総合福祉センター ゆいホール 参加者：132名</p> <p>第1部 基調講演 「助成金を出す立場から、助成金の活用する皆さんに伝えたい5 つのこと」 鈴木祐司さん（公益財団法人地域創造基金さなぶり 専務理事/事 務局長）</p> <p>第2部 助成金を活用して成果をあげた団体からの事例報告 第3部 情報提供 助成財団等との名刺交換交流会</p> <p>■主 催 地域づくりのための助成事業活用シンポジウ ム実行委員会 ■構成団体 沖縄県地域づくりネットワーク、おきなわア ジェンダ21県民会議、沖縄県企画部、（公社）沖縄県地 域振興協会、社会福祉法人沖縄県共同募金会、社会福祉法 人沖縄県社会福祉協議会、（公財）沖縄県文化振興会、沖 縄銀行、琉球銀行、沖縄ろうきん、コープ沖縄、沖縄子ど もの未来県民会議、琉球新報、（公財）みらいファンド沖縄</p>



公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(6)	地域円卓会議の開催・支援	通年	地域の社会的課題の解決のための対話の場である「地域円卓会議」の開催・支援を行った。 地域円卓会議：8回 参加人数：368名

日付	内容	主催	参加人数
1 6/3 (日)	久高島へのUターンを考える地域円卓会議	南城市、久高区	18名
2 10/2 (火)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (子どもの居場所)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	60名
3 12/17 (月)	子どもの居場所の資金を考える地域円卓会議	みらいファンド沖縄	40名
4 12/18 (火)	単身シニア女性の貧困を考える地域円卓会議	みらいファンド沖縄	24名
5 1/14 (月)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (企業)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	47名
6 1/26 (土)	認知症でも安心して暮らせるまちの実現に向けて民間の力を活用したまちづくりを考える	沖縄県	49名
7 2/12 (火)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (教育と福祉)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	85名
8 3/9 (土)	公共交通を福祉とまちづくりの視点から考える地域円卓会議	那覇市議会無所属の会	45名

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(6)	コレクティブインパクト事業 	通年	沖縄における重要課題において、コレクティブインパクトで社会課題解決を行う事業に取り組む ①沖縄県認知症高齢者見守り推進事業 日時：2019年1月26日（土） 場所：宜野湾市民図書館 内容：第1部 搜索地域円卓会議 第2部 地域円卓会議 ②子どもの貧困問題の解決
公2 -(6)	寄付月間2018	12月	寄付月間パネル展の実施 期間：2018年12月3日（月）～12月7日（金） 場所：沖縄県県庁1階ロビー 参加：NPO8 民間6 沖縄県1 大学1
公2 -(6)	各種勉強会の開催	随時	地域円卓会議体験セミナー

* 公2-(7)寄付付き商品の企画・提案・コーディネートについては当年度は実施していない

その他（法人運営等）

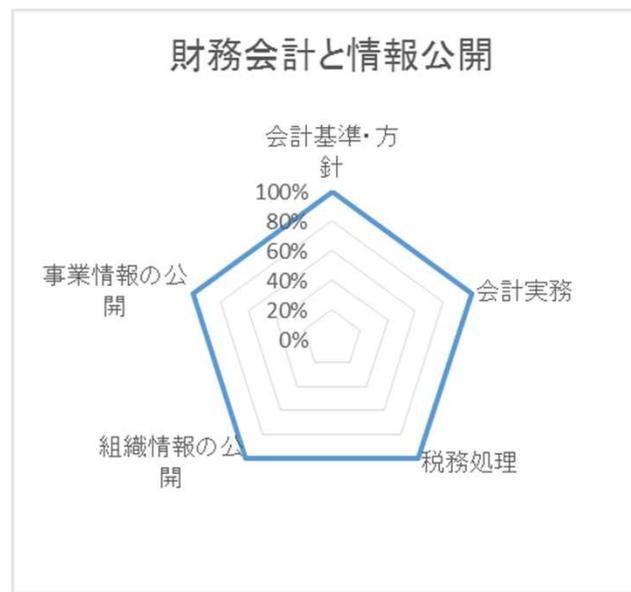
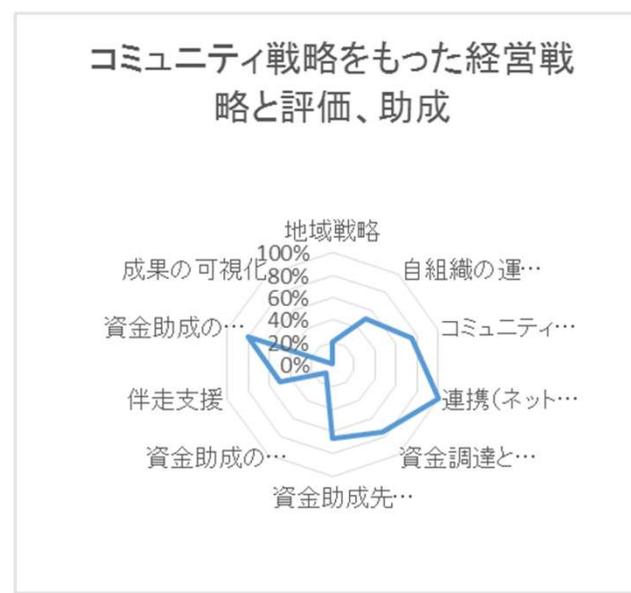
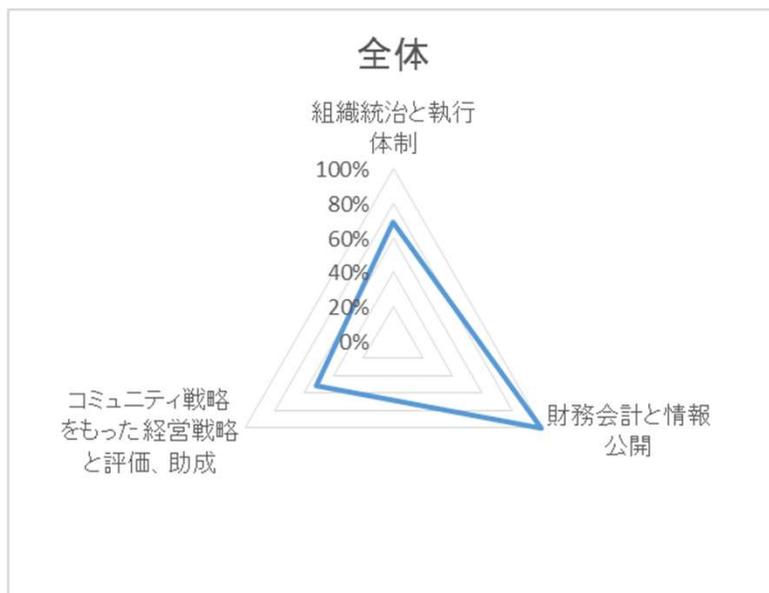
2018年度の概況

法人運営体制について、現在の収入規模に応じた効率的な運営に努め、昨年度に引き続き単年度黒字を達成することができた。一方で年間寄付金額は30,349,469円となり、昨年度に引き続き多額のご寄付をいただくことが出来た。

また、コミュニティ財団ガイドライン（発行：全国コミュニティ財団協会 2016）に基づき運営を行うためセルフチェックを実施した。

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
法人	定時評議員会の開催	6月	期間：2018年6月22日（金）10:30～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所
法人	理事会の開催	通年	第1回 2018年5月11日（金）13:30～15:30 第2回 2018年6月11日（月）電磁的方法により実施 第3回 2018年6月22日（金）電磁的方法により実施 第4回 2018年9月14日（金）10:00～12:00 第5回 2019年1月11日（金）13:30～15:30 第6回 2019年3月26日（火）10:00～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所
法人	事務局体制	随時	定例会 毎週木曜日10時 常務理事にて実施 職員：新城やよい（週3回勤務） 会計業務：大城税理士事務所に委託

コミュニティ財団ガイドラインによるセルフチェック結果



役員一覧

評議員（任期（4年）：2018年6月3日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
評議員	イナガキ ジュンイチ 稲垣 純一	沖縄電子ビジネス専門学校 理事
評議員	マキヤ ミツコ 真喜屋 光子	有限会社センチュリー経営企画（マキの靴）代表取締役
評議員	ハハ マサヒロ 饒波 正博	沖縄赤十字病院勤務 なは市民協議会
評議員	イトカズ ミキ 糸数 未希	にじのはしファンド代表
評議員	モトムラ マコト 本村 真	琉球大学学長補佐（研究担当）・法文学部教授
評議員	ツツキ ヨウコ 續 洋子	NPO法人1万人井戸端会議 副代表/事務局長

理事（任期（2年）：2018年6月22日～2020年評議員会まで）

役職	氏名	所属
理事 代表理事	コサカ ワタル 小阪 亘	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく 代表理事
理事 副代表理事	タイラ トウセイ 平良 斗星	株式会社エフエム那覇 会長
理事	ミヤザト ダイヤ 宮里 大八	琉球大学 地域連携推進機構 特命准教授
理事	テルキナ トオル 照喜名 通	沖縄県難病相談支援センター 認定NPO法人 アンビシャス 副理事長
理事	チネン タタヒコ 知念 忠彦	医療法人天仁会 天久ヒルトップ 施設長

監事（任期（4年）：2018年6月22日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
監事	ナシロ ヨシエ 名城 佳枝	大学非常勤講師、ファイナンシャルプランナー、沖縄県金融広報アドバイザー
監事	ヤマザキ アラタ 山崎 新	株式会社おきなわedu 取締役

受入れ寄付額と助成の実績（2010-2017）

		受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2010 (第1期)	立上期 財団機能 基盤構築	9,197,780円	9,197,780円	5,755,250円	・受入寄付額には拠出金を含む ・震災関連寄付を含む
2011 (第2期)		3,824,684円	13,022,838円	2,427,218円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む ・震災関連寄付を含む
2012 (第3期)		5,170,037円	18,194,341円	3,709,315円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2013 (第4期)	助成プログラ ム・円卓会議 の確立	4,920,777円	23,115,118円	2,383,834円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2014 (第5期)		2,760,362円	25,875,480円	2,549,919円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2015 (第6期)	FR機能の 強化・確立	12,718,093円	38,593,573円	1,745,517円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2016 (第7期)		29,679,412円	68,272,985円	1,325,250円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2017 (第8期)		19,839,830円	87,839,405円	3,287,547円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2018 (第9期)		30,349,469円	118,188,874円	70,000,454円	・受入寄付額にはみら いファンド沖縄への寄 付を含む

略年表 (2009-2013)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2009 H21	<ul style="list-style-type: none"> •キックオフフォーラム 	<ul style="list-style-type: none"> •衆議院選挙で民主党圧勝 •裁判員制度施行
2010 H22	<ul style="list-style-type: none"> •法人設立 •那覇市「地域づくり・公益活動支援事業」受託（緊急雇用事業） •「じぶん基金」プログラム2基金スタート •沖縄NPOデータベース公開 	<ul style="list-style-type: none"> •普天間基地の辺野古移転が白紙に •沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 •「新しい公共」円卓会議 •11月 仲井真知事 再選 •12月 ISO26000発効 •3/11 東日本大震災
2011 H23	<ul style="list-style-type: none"> •公益財団法人化 •「寄付と助成のプログラム」スタート •H23「沖縄県新しい公共支援事業」受託 •クレジットカードにて寄付決済サービス開始 •PSTをクリアし、税額控除認定を受ける 	<ul style="list-style-type: none"> •6月 新しい市民公益税制が成立 •6月 改正NPO法が成立 •7月 なでしこジャパン FIFA杯優勝 •10月 世界のウチナーンチュ大会
2012 H24	<ul style="list-style-type: none"> •H24沖縄県「新しい公共支援事業」受託 •「世界若者ウチナーンチュ大会支援基金」設置 •カンパイチャリティを開催 •「沖縄まちと子ども基金」設置 	<ul style="list-style-type: none"> •4月 新認定NPO法人制度スタート •5月 沖縄の本土復帰40周年 •8月 ロンドンオリンピック •11月 那覇市長に翁長氏が4選 •12月 衆議院選挙で自民党圧勝 •2月 浦添市にNPO出身の市長が誕生
2013 H25	<ul style="list-style-type: none"> •4月 事務局をタイフーンfm内に移転 •6月 国交省 事業受託 •7月 累積寄付受入額 2000万円を突破 	<ul style="list-style-type: none"> •4月 インターネット選挙解禁 •6月 富士山が世界遺産に •11月 旧民法法人の移行特措期間終了

略年表 (2014-2016)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2014 H26	<ul style="list-style-type: none"> ・6月「寄付と助成のプログラム」を再編し公募開始 ・6月一般社団法人全国コミュニティ財団協会設立、設立時九州ブロック理事として参画 ・3月全国コミュニティ財団協会海外招聘事業フォーラム・研修「米国のコミュニティ財団100年の歴史に学ぶ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 消費税増税（8%に） ・5月 日本創生会議が自治体の896が消滅の危機にあると発表。地方消滅（通称増田レポートの発表） ・9月 第2次阿部内閣にて、地方創生担当大臣に石破茂とまち・ひと・しごと創生本部を設置。 ・9月 FIFAワールドカップ ブラジル大会 ・12月 沖縄県知事に翁長雄志氏が当選 ・2月 介護保険制度の改正（要支援1, 2が予防給付の対象除外に）
2015 H27	<ul style="list-style-type: none"> ・10月 じぶん基金 宮里大八国際交流基金を設置 ・12月 寄付月間、全国規模の寄付推進の取り組み、寄付月間推進委員として、沖縄で寄付推進に取り組む ・1月 遺贈寄付 第1号を受け入れる ・2月8日 みらいファンド沖縄5周年記念イベント ドネーションパーティ&サンクスデー ・琉球大学、名城大学とCOC+円卓会議開催（県内5カ所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・普天間基地の辺野古移転が白紙に ・沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 ・「戦後70年談話」 ・9月10日 関東・東北豪雨 鬼怒川氾濫 ・9月19日 参院本会議で“安保法”可決 ・11月13日 「パリ同時多発テロ」発生 ・12月 寄付月間が、寄付を推進する全国的な取り組み が初めておこなれた。 ・2月 国勢調査で初めて人口減少 1920年の調査開始以来初めて。
2016 H28	<ul style="list-style-type: none"> ・7月 沖縄県が、県内の深刻な子どもの貧困の解決に向けて 沖縄子ども未来県民会議を設置 事業部会の委員として参画 ・11月 マニフェスト大賞 優秀賞 受賞 ・11月 全国レガシーギフト協会 設立総会（みらいファンド沖縄加盟） ・税額控除認定 更新 ・1月 新崎盛暉平和活動奨励基金 を設置 ・累積寄付受入額 5000万円を突破 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月 日銀がマイナス金利政策を導入したことにより、 長期金利が過去最低を更新 ・4月14日、16日 熊本地震、初めて震度7が2回観測 ・5月 伊勢志摩サミット オバマ米大統領が広島訪問 ・12月2日 休眠預金活用法成立 ・1月 ドナルド・トランプの第45代アメリカ合衆国大統領就任

略年表 (2017-2019)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2017 H29	<ul style="list-style-type: none"> •11月 助成財団シンポジウム（助成財団センター）と実施 •1月 沖縄県で初めて遺贈寄付研修をNPO向け、土業向けに実施 •3月 沖縄県が寄付月間2017で賛同パートナー特別賞を受賞 •3月 1年間で16回の円卓会議を開催（過去で最高件数） 	<ul style="list-style-type: none"> •1月 トランプ大統領就任、米国第一主義を掲げる •3月 特定非営利活動促進法 成立20周年 •7月 都議選で都民ファーストの会が躍進 •9月 桐生 9秒98 日本人初の10秒台突破 •10月 第48回衆議院選挙 自民党が3分の2議席
2018 H30	<ul style="list-style-type: none"> •6月 評議員、理事、幹事改選 •5月 寄付受入金額1億円突破 •12月 みらいファンド沖縄活動報告書2010-2018発行 •3月 沖縄式地域円卓マニュアル作成費のためのクラウドファンディング実施 	<ul style="list-style-type: none"> •1月 仮想通貨流出、交換業者に改善命令 •5月 将棋・藤井聡太、最年少で七段に •8月 翁長沖縄県知事死去 •9月 玉城沖縄県知事就任 •11月 2025年大阪万博開催決定
2019 H31		

貸借対照表

平成 31年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,082,728	2,904,106	△ 1,821,378
未収金	3,886,041	1,415,173	2,470,868
流動資産合計	4,968,769	4,319,279	649,490
2. 固定資産			
(1)基本財産			
預金(基)	3,060,040	3,060,011	29
基本財産合計	3,060,040	3,060,011	29
(2)特定資産			
資金循環事業基金	6,717,810	50,561,273	△ 43,843,463
特定資産合計	6,717,810	50,561,273	△ 43,843,463
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	9,777,850	53,621,284	△ 43,843,434
資産合計	14,746,619	57,940,563	△ 43,193,944
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,688,974	2,068,724	620,250
預り金	22,181	11,831	10,350
流動負債合計	2,711,155	2,080,555	630,600
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,711,155	2,080,555	630,600
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	6,717,810	50,561,273	△ 43,843,463
指定正味財産合計	6,717,810	50,561,273	△ 43,843,463
2. 一般正味財産	5,317,654	5,298,735	18,919
正味財産合計	12,035,464	55,860,008	△ 43,824,544
負債及び正味財産合計	14,746,619	57,940,563	△ 43,193,944

貸借対照表内訳表

平成 31年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	499,643	583,085	1,082,728
未収金	3,886,041	0	3,886,041
流動資産合計	4,385,684	583,085	4,968,769
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
預金(基)	3,060,040	0	3,060,040
基本財産合計	3,060,040	0	3,060,040
(2) 特定資産			
資金循環事業基金	6,717,810	0	6,717,810
特定資産合計	6,717,810	0	6,717,810
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	9,777,850	0	9,777,850
資産合計	14,163,534	583,085	14,746,619
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,574,516	114,458	2,688,974
預り金	5,513	16,668	22,181
流動負債合計	2,580,029	131,126	2,711,155
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,580,029	131,126	2,711,155
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	6,717,810	0	6,717,810
指定正味財産合計	6,717,810	0	6,717,810
2. 一般正味財産			
正味財産合計	4,865,695	451,959	5,317,654
負債及び正味財産合計	11,583,505	451,959	12,035,464
負債及び正味財産合計	14,163,534	583,085	14,746,619

正味財産増減計算書

平成 30年 4月 1日 から平成 31年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
自主事業	495,800	139,640	356,160
委託事業	4,074,577	5,961,000	△ 1,886,423
事業収益計	4,570,377	6,100,640	△ 1,530,263
受取寄付金			
受取寄付金	0	2,702,580	△ 2,702,580
受取寄付金振替額	74,192,932	3,306,838	70,886,094
受取寄付金計	74,192,932	6,009,418	68,183,514
雑収益			
受取利息	212	425	△ 213
雑収益	0	114,300	△ 114,300
雑収益計	212	114,725	△ 114,513
経常収益計	78,763,521	12,224,783	66,538,738
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	1,904,000	480,000	1,424,000
福利厚生費	6,133	0	6,133
旅費交通費	174,806	413,034	△ 238,228
通信運搬費	69,525	15,582	53,943
消耗品費	87,519	38,543	48,976
印刷製本費	99,353	22,495	76,858
賃借料	270,000	315,000	△ 45,000
諸謝金	85,000	150,000	△ 65,000
租税公課	1,000	1,000	0
支払負担金	50,000	120,000	△ 70,000
支払助成金	70,250,454	3,287,547	66,962,907
委託費	0	1,827,344	△ 1,827,344
外注工賃	3,669,377	2,562,855	1,106,522
雑費	226,755	204,699	22,056
事業費計	76,893,922	9,438,099	67,455,823
管理費			
役員報酬	476,000	120,000	356,000
給料手当	561,600	180,300	381,300
福利厚生費	2,744	0	2,744
交際費	8,000	6,000	2,000
通信運搬費	1,879	1,353	526
消耗品費	12,007	8,600	3,407
賃借料	90,000	105,000	△ 15,000
諸謝金	554,736	481,296	73,440
租税公課	2,050	0	2,050
雑費	141,664	176,100	△ 34,436
管理費計	1,850,680	1,078,649	772,031
経常費用計	78,744,602	10,516,748	68,227,854
評価損益等調整前当期経常増減額	18,919	1,708,035	△ 1,689,116
当期経常増減額	18,919	1,708,035	△ 1,689,116
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	18,919	1,708,035	△ 1,689,116
当期一般正味財産増減額	18,919	1,708,035	△ 1,689,116
一般正味財産期首残高	5,298,735	3,590,700	1,708,035
一般正味財産期末残高	5,317,654	5,298,735	18,919
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	30,349,469	17,137,250	13,212,219
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	74,192,932	3,306,838	70,886,094
当期指定正味財産増減額	△ 43,843,463	13,830,412	△ 57,673,875
指定正味財産期首残高	50,561,273	36,730,861	13,830,412
指定正味財産期末残高	6,717,810	50,561,273	△ 43,843,463
III 正味財産期末残高	12,035,464	55,860,008	△ 43,824,544

正味財産増減計算書内訳表

平成 30年 4月 1日 から平成 31年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	情報流通	資金循環	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
事業収益						
自主事業	12,000	483,800	0	495,800	0	495,800
委託事業	0	4,074,577	0	4,074,577	0	4,074,577
事業収益計	12,000	4,558,377	0	4,570,377	0	4,570,377
受取寄付金						
受取寄付金振替額	0	72,342,252	0	72,342,252	1,850,680	74,192,932
雑収益						
受取利息	0	183	29	212	0	212
経常収益計	12,000	76,900,812	29	76,912,841	1,850,680	78,763,521
(2) 経常費用						
事業費						
役員報酬	238,000	1,666,000	0	1,904,000	0	1,904,000
福利厚生費	1,635	4,498	0	6,133	0	6,133
旅費交通費	117,900	56,906	0	174,806	0	174,806
通信運搬費	0	69,525	0	69,525	0	69,525
消耗品費	0	87,519	0	87,519	0	87,519
印刷製本費	0	99,353	0	99,353	0	99,353
貸借料	14,400	255,600	0	270,000	0	270,000
諸謝金	0	85,000	0	85,000	0	85,000
租税公課	0	1,000	0	1,000	0	1,000
支払負担金	50,000	0	0	50,000	0	50,000
支払助成金	0	70,250,454	0	70,250,454	0	70,250,454
外注工賃	0	3,669,377	0	3,669,377	0	3,669,377
雑費	10,648	216,107	0	226,755	0	226,755
事業費計	432,583	76,461,339	0	76,893,922	0	76,893,922
管理費						
役員報酬	0	0	0	0	476,000	476,000
給料手当	0	0	0	0	561,600	561,600
福利厚生費	0	0	0	0	2,744	2,744
交際費	0	0	0	0	8,000	8,000
通信運搬費	0	0	0	0	1,879	1,879
消耗品費	0	0	0	0	12,007	12,007
貸借料	0	0	0	0	90,000	90,000
諸謝金	0	0	0	0	554,736	554,736
租税公課	0	0	0	0	2,050	2,050
雑費	0	0	0	0	141,664	141,664
管理費計	0	0	0	0	1,850,680	1,850,680
経常費用計	432,583	76,461,339	0	76,893,922	1,850,680	78,744,602
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 420,583	439,473	29	18,919	0	18,919
当期経常増減額	△ 420,583	439,473	29	18,919	0	18,919
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 420,583	439,473	29	18,919	0	18,919
他会計振替額	350,094	2,762,090	0	3,112,184	△ 3,112,184	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 70,489	3,201,563	29	3,131,103	△ 3,112,184	18,919
当期一般正味財産増減額	△ 70,489	3,201,563	29	3,131,103	△ 3,112,184	18,919
一般正味財産期首残高	△ 5,000	△ 1,320,419	3,060,011	1,734,592	3,564,143	5,298,735
一般正味財産期末残高	△ 75,489	1,881,144	3,060,040	4,865,695	451,959	5,317,654
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金						
受取寄付金	0	28,498,789	0	28,498,789	1,850,680	30,349,469
一般正味財産への振替額						
一般正味財産への振替額	0	72,342,252	0	72,342,252	1,850,680	74,192,932
当期指定正味財産増減額	0	△ 43,843,463	0	△ 43,843,463	0	△ 43,843,463
指定正味財産期首残高	0	50,561,273	0	50,561,273	0	50,561,273
指定正味財産期末残高	0	6,717,810	0	6,717,810	0	6,717,810
III 正味財産期末残高	△ 75,489	8,598,954	3,060,040	11,583,505	451,959	12,035,464

財産目録

平成 31年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
普通預金	琉球銀行 壺屋支店 沖縄銀行 首里支店 沖縄銀行 鳥堀支店 琉球銀行 首里支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 郵便振替口座	運転資金として " " " (まちと子ども基金) " (まちと子ども基金) " (乳がん) " (新崎盛暉) " (子供シェルター) 運転資金として	267,664 366,217 315,421 150 3 17,250 21 116,002 0
未収金		データベース開発未収金 沖縄子どもの未来県民会議未収金 認知症見守り推進事業未収金 円卓ブックレット事業未収金 円卓会議未収金 映画上映会イベント未収金	1,036,800 1,000,000 962,577 391,464 387,200 108,000
流動資産合計			4,968,769
(固定資産)			
基本財産	普通預金	琉球銀行 首里支店	3,060,040
特定資産	資金循環事業基金	沖縄銀行 鳥堀支店他 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 琉球銀行 首里支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店	寄付と助成プログラム 寄付と助成プログラム (ガイア) 寄付と助成プログラム (子供シェルター) テーマ型 (まちと子ども基金) テーマ型 (まちと子ども基金) 宮里大八国際交流基金 新崎盛暉平和活動奨励基金
			269,750 4,700 1,044,000 822,627 228,371 537 4,347,825
固定資産合計			9,777,850
資産合計			14,746,619
(流動負債)			
未払金	(株)スタートライン (特非)まちなか研究所わくわく (同)トキニライド 理事、職員 個人2名 理事 大城税理士事務所 花風	データベース、映画上映会 委託費 円卓会議運営費 認知症見守り推進事業 委託費 役員報酬、給与 謝金・旅費 未精算経費 税理士報酬 (3月分) WEBサイト更新費 3月分	990,800 955,233 352,277 186,800 76,406 61,340 39,118 27,000
預り金		源泉所得税	22,181
流動負債合計			2,711,155
固定負債合計			0
負債合計			2,711,155
正味財産			12,035,464

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の会計処理は、最終仕入原価法によっている。

(2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金(基)	3,060,011	29	0	3,060,040
小計	3,060,011	29	0	3,060,040
特定資産				
資金循環事業基金	50,561,273	26,468,785	70,312,248	6,717,810
小計	50,561,273	26,468,785	70,312,248	6,717,810
合計	53,621,284	26,468,814	70,312,248	9,777,850

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金(基)	3,060,011	0	29	—
小計	3,060,011	0	29	—
特定資産				
資金循環事業基金	6,717,810	6,717,810	0	0
小計	6,717,810	6,717,810	0	0
合計	6,717,810	6,717,810	0	0

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額 (各事業団体への寄付金助成ほか)	72,342,252
法人会計への振替額	1,850,680
合計	74,192,932

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	預金（基）	3,060,011	29	0	3,060,040
	基本財産計	3,060,011	29	0	3,060,040
特定資産	資金循環事業基金	50,561,273	26,468,785	70,312,248	6,717,810
	特定資産計	50,561,273	26,468,785	70,312,248	6,717,810

平成30年度 監査報告書

公益財団法人 みらいファンド沖縄
代表理事 小 阪 亘 殿

公益財団法人みらいファンド沖縄定款第33条の規定に基づき平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成~~29~~年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。 30

1 監査の方法の概要

(1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。

〈確認事項〉

- ・未収未払い金について聞き取り、金額と内容を確認。
- ・基本財産に記載の300万円が確保されていることを確認。

(2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討。

(3) コミュニティ財団ガイドラインに沿って運営されているかを確認。

2 監査意見

(1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。

(2) 事業報告書の内容は真実であると認める。

(3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

令和1年5月14日

公益財団法人みらいファンド沖縄

監事 名城 佳枝

監事 山崎 新